

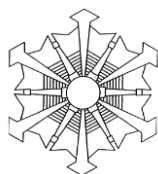
令和5年版

消 防 年 報



宜野湾市消防本部

令和6年刊行



ま え が き

この年報は、令和5年中における本市の消防事情を収録（一部においては過去10年ないし5年間の推移を収録）したもので、消防行政の運営の指針とするとともに消防の状況を広く紹介するため編集したものです。

なお、収録の統計資料は、暦年単位でもって表していますが、その他の事項については年度及び4月1日をもって作成しております。

令和6年

宜野湾市消防本部

宜野湾市消防訓

一、使命・奉仕

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、消防人としての職責を自覚し、全体の奉仕者として、意欲をもつて誠実、公正に遂行することを使命とする。

一、規律・連帯

厳正な規律及び、緊密な連携の保持に努めることにより、組織として一体の成果を成し遂げるよう尽力する。

一、鍛錬・研鑽

自己の健康管理を図り、常に心身の鍛錬に努めることで卓越した知識と技術を身につけ、その能力を最大限に発揮できるように自己研鑽する。

この消防訓は消防の責任を十分に果たすために、災害を防ぎ、安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資するため、消防人としての奉仕の精神、慈悲の精神をもつて、強い使命と強固な連帯感を発揮するため、自己研鑽に励むことを目的とする。

目 次

市勢・消防の沿革

○ 位 置	1
○ 地 勢	1
○ 人口及び世帯数	2
○ 面 積	2
○ 宜野湾市の略図及び消防庁舎写真	3
○ 消防の沿革	4～11
○ 歴代消防長	12
○ 歴代消防隊長・消防団長	12

組 織 ・ 人 事

○ 組織人事概要	13
○ 消防本部組織図	14
○ 消防本部・消防署の事務分掌	15～17
○ 職員配置状況	18
○ 消防職員定数及び実数	19
○ 年度別職員数	19
○ 職員の階級別・年齢別構成表	20
○ 職員の階級別・勤続年数別構成表	21
○ 職員の教育訓練状況	22
○ 職員の資格・技能取得状況	23
○ 消防職員表彰・元消防職団員叙勲受章者	24
○ 消防力の整備指針と現有消防力との比較	25
○ 面積・人口・世帯数に対する消防力	25
○ 消防相互応援協定等の状況	26

消 防 団 関 係

○ 消防団組織図	27
○ 消防団員定数及び実数	27
○ 消防団員の報酬及び費用弁償額	27
○ 消防団員活動状況	28
○ 消防団員の装備	28
○ 消防団員表彰	28

消 防 予 算

○ 令和5年度消防予算決算及び令和6年度消防予算	29
○ 市予算と消防予算の推移	30
○ 市民1人当り・1世帯当りの消防費の推移	30
○ 令和6年度予算概要	30

消防施設機械

○ 過去1年間の施設機械状況	31
○ 消防本部及び署所の名称・位置	31
○ 消防庁舎概要	31
○ 消防通信施設	32～33
○ 消防水利の現況	34
○ 現有消防車両	34
○ 消防用車両配置一覧表	35

予 防

○ 火災予防概要	36
○ 数量別危険物施設の現況	37
○ 危険物施設事務処理状況	37
○ 危険物関係事務手数料収入状況	38
○ 危険物施設数及び事業所数の推移	38
○ 少量危険物取扱施設数	38
○ 各種届出事務処理状況	39
○ 防火管理資格取得講習会実施状況	39
○ 用途別防火管理者選任(解任)届出状況	40
○ 防火管理者を必要とする防火対象物数	41
○ 防火対象物別立入検査状況	42
○ 建築同意事務処理状況	43
○ 過去5年間の建築同意受付件数	43
○ 月別・用途別建築同意処理状況	44
○ 用途別消防用設備等設置件数	45
○ 中高層建築物用途別棟数状況	46
○ 予防広報活動状況	47
○ 全国統一防火標語	48

火 災

○ 火災統計概要	49
○ 過去5年間の火災種別発生件数・状況	50
○ 過去5年間の火災件数、損害額及び焼損面積	51
○ 月別・年次別火災発生状況	52
○ 令和5年の出火原因別火災発生件数	53
○ 近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例	53
○ 月別・用途別出火件数	54
○ 覚知別火災出動件数	54

○ 曜日別火災発生件数	54
○ 月別・時間別火災発生状況	55
○ 行政区別・月別火災発生状況	56

救 急

○ 救急統計概要	57
○ 事故種別・時間別救急出動件数	58
○ 時間別救急出動件数	58
○ 事故種別・時間別救急搬送人員	59
○ 時間別救急搬送人員	59
○ 事故種別年令区別傷病程度別搬送人員	60
○ 月別救急出動件数	61
○ 曜日別救急出動件数	61
○ 行政区別救急出動件数	62
○ 過去10年間の救急出動件数	63
○ 過去10年間の事故種別救急出動件数	63
○ 署所別救急出動件数	63
○ 救急隊員が行った応急処置件数	64

救 助 ・ その他出動

○ 救助統計概要	65
○ 災害別・月別出動件数	66
○ 行政区別出動件数	67

その他

○ 消防関係主要行事・訓練関係	68
○ 救命講習・庁舎見学・職場体験学習	69
○ 気象観測データ	70



市勢・消防の沿革

位 置

本市は、沖縄本島中南部の東シナ海に面し、北には北谷町、北東には北中城村、東には中城村、南東には西原町、南に浦添市と面しています。

那覇市より北に12 Km、沖縄市より南に6 Kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号、国道330号、県道宜野湾北中城線、県道34号線が通り、さらに沖縄自動車道の北中城インターチェンジ、西原インターチェンジへもつながりが容易な沖縄本島の中部及び北部を結ぶ交通上の重要な地点に位置しています。

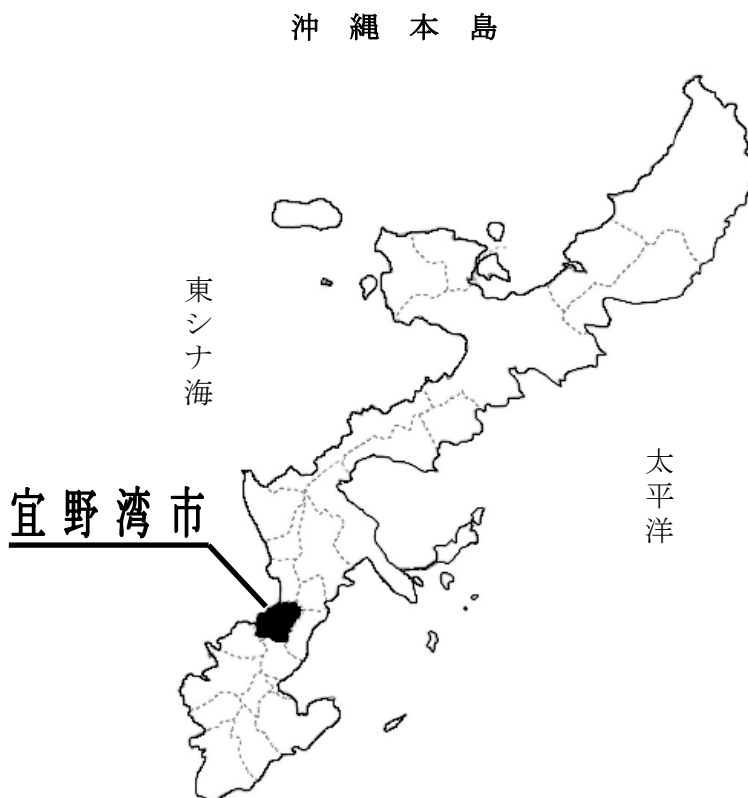
地 勢

海岸線は、比較的に出入りが少なく、珊瑚礁が発達して遠浅をなしています。

陸地は、東西が6.1 Km、南北が5.3 Kmのやや長方形で、海岸線は、おおむね平たんであるが、国道58号以东は台地となっています。市域の中央部と北部は米軍基地となっており、その面積は全市域の約32%を占めています。また、河川は浦添市境に宇地泊川、牧港川、北谷町界に普天間川があります。

気候は、亜熱帯性で、年平均気温は22.8度と四季を通じて温暖で、春から夏にかけて雨量が多く、梅雨明けとともに長い夏が続きます。夏から秋にかけて熱帯性低気圧の進路となり、台風の襲来が多くなります。

最東端	東 経
	127° 47' 21"
最西端	東 経
	127° 43' 46"
最南端	北 緯
	26° 14' 45"
最北端	北 緯
	26° 17' 38"



宜野湾市消防は、昭和26年4月29日に宜野湾村消防隊を結成し、昭和38年、当時の高等弁務官資金により普天間に庁舎を建築しました。当時、この建物は近代的な建物で、一部煉瓦造で望楼（火の見やぐら）が設置され、周辺を一望できる高層建物でした。宜野湾市には、その当時から普天間基地が存在し、普天間から遠距離の地域へは、基地を迂回せねばならず、現場到着までに15分以上要していました。その実情を踏まえ、昭和53年に我如古出張所を開所しました。また、市役所移転に伴い昭和61年3月には消防本部が普天間から野嵩に移転しました。

当時、宜野湾市は市全体が都市化され、人口増加が著しく建物も高層化され、火災・救急・その他災害も増加する中、市内全域5分以内に現場到着することを念頭に平成7年に真志喜出張所を開所しました。基地を囲むように3署所をバランスよく配置したことで、現場到着まで概ね5分以内に到着することが可能になり、消防力が一段と向上しました。

人 口 及 び 世 帯 数

令和6年3月31日現在

住 民 登 録 人 口		計	世帯数
男	女		
48,574	51,435	100,009	47,497

面 積

令和6年3月31日現在

面 積	東 西	南 北
19.80km ²	6.1km	5.3km

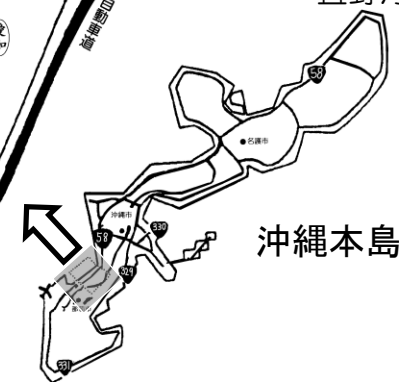
宜野湾市の略図



消防署真志喜出張所



宜野湾市消防本部・消防署



沖縄本島



消防署我如古出張所

消 防 の 沿 革

年 月 日	事 項
昭和24年 4月29日	初代消防隊長 宮城 光雄 就任
昭和25年 7月7日	三輪自動車ポンプ車配置
〃 10月25日	消防隊に関する法（米国軍政府令第28号）公布される
昭和26年 4月29日	宜野湾村消防隊を結成、宜野湾村消防隊隊規を設定する 隊長、副隊長、幹事各1名、評議員若干名、分隊長23名 隊員は各部落毎に、住民100名に対し2名の割合で配置する
昭和27年 10月	第2代消防隊長 宮城 豊吉 就任
〃 12月12日	消防法（琉球政府立法第66号）公布される
昭和30年 1月	第3代消防隊長 照屋 毅 就任
昭和31年 6月1日	第4代消防隊長 大城 仁幸 就任
〃 10月3日	水槽付消防ポンプ自動車（中古）が初めて配置される
昭和33年 7月1日	宜野湾村消防隊条例を制定、役所一般職員による兼務制度を採用する 兼務隊員17名 非常勤務隊員23名
〃 8月29日	役所庁舎新築に伴い普天間532番地へ移転する
昭和34年 7月1日	常勤制度を初めて採用する（運転手1名）
昭和35年 9月29日	ジープ配置（軍払い下げ品）
昭和36年 5月30日	大型ポンプ車自動車購入（軍払い下げ品）
昭和37年 6月15日	消防組織法（琉球政府立法第27号）立法、同年12月施行
〃 7月1日	村を廃し、市制を施行、宜野湾市となる
〃 7月5日	水槽付消防ポンプ自動車（国産第1号、トヨタ）配置
昭和38年 3月18日	消防新庁舎落成
〃 7月1日	消防団を配置する 消防組織法に基づき従来の消防隊を組織替え、消防団に改称する 常勤団員4名、役所兼務団員10名、非常勤団員82名
〃 7月1日	初代消防団長 大城 仁幸 就任
〃 11月25日	中部市町村消防相互応援協定締結
昭和39年 7月1日	初代消防長 大城 仁幸 就任
〃 7月1日	消防本部、消防署、消防団の三機関を設置、消防業務の選任化を図る 消防職員9名配置 団員（非常勤）13名
昭和40年 7月15日	軽化学車兼水槽付消防ポンプ自動車を配置する アメリカ民政府から譲渡
〃 7月	職員増を図る 消防職員12名 消防団員10名 24時間隔日 日勤務制を実施
昭和41年 3月2日	水槽付消防ポンプ自動車（新車、いすゞ）購入
昭和42年 7月	職員増を図る 消防職員18名 消防団員6名
昭和45年 10月1日	琉球政府行政組織法の一部改正により、建築同意事務と危険物規則事務が 警察から市町村に移管される
〃 11月11日	指令車購入（トヨタ、新車）

年 月 日	事 項
昭和46年 11月24日	作業車購入（日産、ダットサン）
昭和47年 1月14日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ジープ型）寄贈される
〃 4月24日	消防無線機設置
〃 5月15日	本土復帰 市の機構改革に伴い、消防本部に課設置（総務課、警防課）
〃 6月1日	救急業務が警察から市町村に移管される
〃 6月5日	職員増を図る 消防職員27名 消防団員5名
〃 7月10日	職員増を図る 消防職員31名 消防団員5名
〃 12月25日	救急自動車配置（国庫補助、トヨタ）
昭和48年 5月10日	職員増を図る 消防職員32名 消防団員5名
昭和49年 2月4日	消防無線、市町村波許可
〃 2月18日	消防庁舎増築
〃 12月12日	救助工作車配置、救助隊編成（10名）
昭和50年 2月3日	救急車1台日本損害保険から寄贈
〃 6月15日	沖縄海洋博、本部町今帰仁村消防署へ3名派遣（6ヶ月）
〃 8月1日	本部に予防課新設
〃 12月6日	水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和51年 1月6日	宜野湾市消防音楽隊発足（17名）
昭和52年 2月1日	指令台の設置（海洋博協会から寄贈）
〃 12月5日	指令車購入
昭和53年 3月18日	宜野湾市消防署我如古出張所落成
〃 4月1日	職員増員17名 職員60名
〃 4月10日	宜野湾市消防署我如古出張所業務開始 職員21名配置
〃 9月21日	救急車日本消防協会から寄贈
昭和54年 2月19日	水槽付消防ポンプ自動車配置（11号車）
〃 11月22日	はしご付消防ポンプ自動車配置（32メートル級）
昭和55年 3月28日	連絡車配置（4号車）
〃 6月16日	救助用アルミボート購入
〃 6月19日	資機材搬送車配置（5号車）
〃 9月10日	火災保険号（水槽付消防ポンプ自動車）日本損害保険協会から寄贈（13号車）
〃 11月1日	第2代消防団長 古波藏 正男 就任
〃 12月18日	消防無線県内共通波許可
昭和56年 3月27日	救急車配置（6号車）
〃 3月30日	指令車配置（1号車）
〃 12月20日	小型動力ポンプ付積載車配置（9号車）
昭和57年 7月27日	宜野湾市消防音楽隊規定の改正
〃 12月24日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量10,000ℓ）配置（17号車）
昭和58年 6月30日	宜野湾市救急業務規定の改定
〃 8月1日	消防本部組織規則、消防署組織規定を全部改正

年 月 日	事 項
昭和58年 8 月 1 日	教育委員会事務局へ1名出向
〃 10 月 7 日	予防広報車配置（2号車）
〃 10月27日	消防ポンプ車（BDⅠ型）配置（10号車）
昭和59年 3 月 30 日	旅館、ホテル等に「適合マーク」交付開始
〃 4 月 1 日	消防団員の定員、任命、服務等に関する条例の全部改正
〃 4 月 1 日	消防団員定数22名
〃 7 月 31 日	初代消防長 大城 仁幸 退任
〃 8 月 1 日	第2代消防長 国吉 真義 就任
〃 10 月 1 日	消防団員10名増員（男4名、女6名）県下初の婦人消防団員誕生
〃 10 月 1 日	消防団員の組織及び消防団員の階級等に関する規則施行
〃 12 月 15 日	職員欠員補充1名 その他の職員（女子）配置
〃 12 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（12号車）
昭和60年 2 月 5 日	救急車配置（7号車）
〃 3 月 29 日	連絡車配置（3号車）
〃 4 月 1 日	国体部へ1名出向
〃 11 月 26 日	消防新庁舎竣工 〈防衛庁補助〉
〃 11 月 30 日	第2代消防長 国吉 真義 退任
〃 12 月 1 日	第3代消防長 呉屋 好永 就任
〃 12 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（14号車）
〃 12 月 27 日	救急指令台B型及び基地固定局無線設備設置 〈国庫補助〉
〃 12 月 27 日	旧庁舎から移転
昭和61年 3 月 4 日	消防庁舎落成式
〃 8 月 21 日	消防職員2名採用
〃 12 月 5 日	軍、民消防相互援助協約締結
〃 12 月 12 日	宜野湾市消防安全管理規定施行
〃 12 月 12 日	宜野湾市消防における訓練時安全管理要綱施行
昭和62年 3 月 1 日	救急車配置（6号車）代替
〃 4 月 15 日	消防職員2名採用
〃 3 月 31 日	第3代消防長 呉屋 好永 退任
〃 4 月 1 日	第4代消防長 島田 政朝 就任
〃 10 月 6 日	沖縄自動車道における消防及び救急等の業務に関する覚書の締結
〃 12 月 1 日	国体部から消防へ1名異動
〃 12 月 24 日	救助工作車配置 代替
昭和63年 4 月 25 日	消防本部内勤務配置替
〃 5 月 17 日	総務課長（島袋全吉）市長部局へ出向
〃 5 月 17 日	総務課長（稲福淑雄）市長部局より出向
平成元年 3 月 3 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（13号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3 月 26 日	資器材搬送車購入（5号車代替） 〈単独〉
〃 3 月 28 日	水難救助用ゴムボート購入
〃 3 月 31 日	第4代消防長 島田 政朝 退任
〃 4 月 1 日	第5代消防長 多和田 真隆 就任

年 月 日	事 項
平成元年 4 月 1 日	消防職員 2 名採用
〃 9 月 12 日	連絡車（4 号車）代替
平成 2 年 2 月 13 日	指令車（1 号車）代替
〃 3 月 19 日	積載車購入 代替
平成 3 年 3 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（1 1 号車） 〈国庫補助〉
〃 〃	無線機購入（1 1 号車） 1 0 ワット
〃 3 月 30 日	救急車配置（7 号車） 〈沖縄県補助〉
平成 4 年 1 月 31 日	第 2 代消防団長 古波藏 正男 退任
〃 3 月 17 日	緊急人員輸送車配置（1 8 号） 〈沖縄県補助〉
〃 5 月 1 日	第 3 代消防団長 伊波 廣助 就任
〃 7 月 1 日	救急救命士採用（1 名）
平成 5 年 4 月 2 日	職員増員 5 名 職員定数 6 3 名
平成 6 年 1 月 27 日	予防広報車購入 （旧広報車廃車） 〈沖縄県補助〉
〃 10 月 3 日	職員増員 5 名
平成 7 年 1 月 5 日	職員増員 9 名
〃 1 月 31 日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入 （2 1 号車） 〈国庫補助〉
〃 2 月 28 日	連絡車購入（1 9 号車）
〃 3 月 1 日	救急救命士採用（2 名）職員定数 8 0 名
〃 3 月 23 日	宜野湾市消防署真志喜出張所落成 〈防衛庁補助〉
〃 3 月 29 日	救急車購入（8 号車） 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 30 日	資器材運搬車購入（2 0 号車）
〃 4 月 1 日	宜野湾市消防署真志喜出張所業務開始
〃 9 月	緊急消防援助隊 消火隊 1 隊登録
〃 11 月 6 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（6 号車）
平成 8 年 2 月 1 日	小型動力ポンプ付水槽車（1 7 号車） 代替
〃 2 月 15 日	携帯無線機（5 W）3 基購入
〃 2 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（2 2 号車） 〈国庫補助〉
〃 3 月 18 日	指揮広報車（3 号車）代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 18 日	我如古出張所無線基地局 代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 21 日	宜野湾市消防署真志喜出張所訓練塔落成 〈国庫補助〉
〃 9 月 5 日	小型動力ポンプ購入 （消防団）
〃 11 月 11 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（7 号車）
〃 11 月 15 日	水難救助用ジェットスキー購入（真志喜出張所配置）
平成 9 年 3 月 28 日	携帯無線機（V I S A R）2 2 基購入 〈沖縄県補助〉
〃 10 月 30 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（8 号車）
平成 10 年 3 月 20 日	救急車（7 号車）代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 31 日	5 代消防長 多和田 真隆 退任
〃 4 月 1 日	6 代消防長 神里 常厚 就任
〃 3 月 18 日	救急救命士採用（3 名）職員定数 8 0 名
〃 9 月 30 日	自動式心マッサージ器（サンパー 1 0 0 型）購入（6 号車）
平成 11 年 1 月 12 日	救急救助資機材（空気呼吸器・マルチカッター）購入 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成11年 2月26日	救助艇船外機購入（真志喜出張所）
〃 3月16日	消防緊急通信指令施設設置（代替） 〈国庫補助〉
平成12年 1月28日	気象情報収集装置購入 〈国庫補助〉
〃 2月17日	高規格救急自動車購入（自治省補助）
〃 2月18日	消防資機材（耐熱服、消防用ホース）購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	九州・沖縄サミット消防警備対策班事務局へ1名出向（7月31日まで）
〃 6月8日	はしご付消防自動車購入40m級（16号車代替） 〈国庫補助、明繰事業〉
〃 7月19日	九州・沖縄サミット消防特別警戒（警備、救急、ポンプ隊） 18名派遣
平成13年 2月22日	現場指揮車購入（1号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月13日	消防水難救助艇一式購入（代替）
〃 3月26日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 3月31日	第6代消防長 神里 常厚 退任
〃 4月1日	第7代消防長 上江洲 勇 就任
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 8月21日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）、12号車代替 〈国庫補助、明繰事業〉
平成14年 2月19日	救急救命資機材購入（空気呼吸器5式、空気呼吸器用ボンベ13本）〈沖縄県補助〉
平成15年 3月19日	資機材搬送車購入（9号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月25日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 7月11日	宜野湾市消防音楽隊規程を廃止する
平成16年 1月29日	消防用資機材（エアーテント）購入 〈沖縄県補助〉
〃 2月25日	水槽付消防ポンプ自動車購入（14号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月10日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	消防本部に警防課新設
〃 9月28日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成17年 3月4日	消防庁長官から竿頭綬の授与
〃 3月18日	救助工作車購入（15号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月	緊急消防援助隊 消火隊1隊登録 計2隊
〃 9月27日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成18年 2月21日	災害対応水槽付ポンプ自動車（13号代替） 〈17年度国庫補助〉
〃 3月22日	防火衣購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成19年 2月23日	予防広報車購入（2号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 2月28日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈国庫補助〉
〃 4月1日	消防職員3名、救急救命士3名採用（欠員補充）
〃 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 12月26日	資機材搬送車購入（5号車代替） 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成20年 1月24日	災害対応水槽付ポンプ自動車（11号代替）〈国庫補助〉
〃 2月22日	防災活動車交付（10号車）〈19年度福祉共済事業等 日本消防協会〉
〃 3月31日	第7代消防長 上江洲 勇 退任
〃 4月1日	第8代消防長 呉屋 正成 就任
〃 4月1日	消防職員2名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月8日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成21年 3月13日	指揮広報車（3号車代替）〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員3名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 11月30日	緊急人員輸送車配置（18号車代替）〈沖縄県補助〉
平成22年 2月18日	水難救助用ジェットスキー購入（代替）
〃 3月12日	高規格救急自動車購入（6号車代替）〈防衛補助〉
〃 3月31日	第8代消防長 呉屋 正成 退任
〃 4月1日	第9代消防長 平安名 常明 就任
〃 4月1日	消防職員4名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化等研究協議会へ1名派遣
〃 6月30日	連絡車購入（4号車代替）〈単 独〉
〃 10月17日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 12月27日	資機材搬送車購入（20号車代替）〈沖縄県補助〉
平成23年 3月17日	東日本大震災 緊急消防援助隊隊員5名・水槽付消防ポンプ自動車1台派遣
〃 4月1日	消防職員3名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化推進協議会へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（火災調査科）へ1名派遣
〃 10月1日	第4代消防団長 濱元 朝晴 就任
〃 10月18日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
平成24年 3月31日	第9代消防長 平安名 常明 退任
〃 4月1日	第10代消防長 大嶺 清光 就任
〃 4月1日	消防職員8名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	市長事務部局（総務部市民防災室）へ1名異動（人事交流）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成25年 1月9日	消防資器材 空気ボンベエアコンプレッサー購入 〈沖縄県補助〉
〃 1月21日	救助艇・トレーラー代替 〈一括交付金〉
〃 3月31日	第10代消防長 大嶺 清光 退任
〃 4月1日	第11代消防長 米須 清一 就任
〃 4月1日	消防職員4名採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名派遣
〃 5月27日	消防ポンプ自動車(CD-1)2台購入(21号車、22号車代替)〈一括交付金〉
〃 8月22日	第42回全国消防救助技術大会（はしご登はん）へ1名派遣
〃 8月24日	消防大学校（救助科）へ1名派遣
〃 12月18日	特殊災害対応資機材購入 〈一括交付金〉
平成26年 1月31日	指揮支援車購入（19号車代替）〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成26年 3月6日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈防衛補助〉
〃 3月31日	第11代消防長 米須 清一 退任
〃 4月1日	第12代消防長 浜川 秀雄 就任
〃 4月1日	消防職員定数80名から86名へ
〃 4月1日	消防職員3名採用
〃 4月1日	総務課 係統合により総務係新設
〃 11月8日	第24回全国消防操法大会（ポンプ車の部）へ団員6名派遣
〃 12月3日	我如古出張所 16名体制から19名体制へ増員
〃 12月12日	消防資機材（空気呼吸器10式・空気呼吸器用ボンベ20本）購入 〈沖縄県補助〉
平成27年 3月20日	小型動力ポンプ付水槽車購入（17号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員4名採用
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名（情報政策監理官）派遣
〃 4月1日	消防団員定数22名から30名へ
〃 8月12日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 9月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会（沖縄県消防指令センター）へ2名派遣
〃 10月23日	119番受信業務を沖縄県消防指令センターへ移行（宜野湾市）
〃 10月23日	消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ変更
〃 10月23日	高機能消防指令システムを導入し運用開始
平成28年 1月28日	高規格救急自動車購入（23号車） 〈防衛調整交付金〉
〃 2月1日	現場指揮車購入（1号車） 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 4月1日	沖縄県消防指令センター運用開始（14消防本部、12非常備町村 計26団体）
〃 4月20日	熊本地震 緊急消防援助隊 隊員5名派遣
〃 6月29日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 8月15日	消防団小型動力ポンプ購入 〈消防団備品購入費〉
平成29年 2月7日	救急救助資機材購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員定数86名から91名へ
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 5月15日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 9月4日	救急救命九州研修所（新規養成課程）へ1名派遣
平成30年 2月26日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月28日	水槽付消防ポンプ自動車購入（12号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	消防職員6名採用
〃 4月1日	消防署へ管理担当主査配置（警防課業務一部移管）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成31年 1月7日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月19日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員1名採用
令和元年 11月7日	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（24号車） 〈総務省消防庁〉

年 月 日	事 項
令和元年 11月13日	第24回全国女性消防操法大会へ団員8名派遣
令和元年 12月18日	救急用資機材一式購入 〈沖縄県補助〉
令和2年 2月25日	高規格救急自動車購入（6号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員2名採用
〃 8月19日	消防大学校（救助科）へ1名派遣
〃 9月9日	消防署我如古出張所改築事業の第1期工事が完了し、新庁舎にて業務開始
〃 10月1日	消防職員2名採用
〃 12月11日	水難救助用水上バイク・トレーラー購入 〈沖縄県補助〉
令和3年 1月1日	消防長の階級を消防監へ、消防次長の階級を消防司令長へ変更
〃 4月1日	消防職員定数91名から105名へ
〃 4月1日	消防職員2名採用・再任用職員1名採用
〃 9月3日	救急救命九州研修所（新規養成課程）へ1名派遣
〃 11月24日	はしご付消防自動車購入40m級（16号車代替） 〈防衛調整交付金〉
令和4年 1月31日	救急用資機材一式購入 〈沖縄県補助〉
〃 2月14日	宜野湾市消防署我如古出張所落成（本格運用開始） 〈防衛補助〉
〃 3月30日	資機材搬送車購入（9号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員3名採用
〃 4月1日	消防団員定数30名から40名へ
〃 7月12日	救急救命九州研修所（指導救命士養成研修）へ1名派遣
〃 8月1日	消防職員1名採用（宜野湾市初の女性消防職員）
令和5年 2月28日	救助艇・トレーラー代替 〈沖縄県補助〉
〃 3月20日	水槽付消防ポンプ自動車購入（14号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員2名採用
〃 7月11日	宜野湾市消防訓制定
令和6年 1月22日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈防衛補助〉
〃 1月23日	災害消防用広報車（2号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月31日	第12代消防長 浜川 秀雄 退任
〃 4月1日	第13代消防長 又吉 清 就任
〃 4月1日	消防職員1名採用
〃 4月1日	真志喜出張所へ管理担当主査配置（受付業務一部移管）
〃 5月7日	真志喜出張所へ高規格救急自動車5台目配備
	～ 以下余白 ～

歴代消防長

代	職名	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	消防長	大城 仁 幸	昭和39年7月1日	昭和59年7月31日
2代	〃	国吉 真 義	昭和59年8月1日	昭和60年11月30日
3代	〃	呉 屋 好 永	昭和60年12月1日	昭和62年3月31日
4代	〃	島 田 政 朝	昭和62年4月1日	平成元年3月31日
5代	〃	多和田 真 隆	平成元年4月1日	平成10年3月31日
6代	〃	神 里 常 厚	平成10年4月1日	平成13年3月31日
7代	〃	上 江 洲 勇	平成13年4月1日	平成20年3月31日
8代	〃	呉 屋 正 成	平成20年4月1日	平成22年3月31日
9代	〃	平 安 名 常 明	平成22年4月1日	平成24年3月31日
10代	〃	大 嶺 清 光	平成24年4月1日	平成25年3月31日
11代	〃	米 須 清 一	平成25年4月1日	平成26年3月31日
12代	〃	浜 川 秀 雄	平成26年4月1日	令和6年3月31日
13代	〃	又 吉 清	令和6年4月1日	現在

歴代消防隊長・消防団長

代	職名	氏名	就任年月日	備 考
初代	隊長	宮 城 光 雄	昭和24年4月29日	
2代	〃	宮 城 豊 吉	昭和27年10月	
3代	〃	照 屋 毅	昭和30年1月	
4代	〃	大 城 仁 幸	昭和31年6月1日	
初代	団 長	大 城 仁 幸	昭和38年7月1日	消防組織法に基づき消防隊を消防団に改称する。
2代	〃	古波藏 正 男	昭和55年11月1日	
3代	〃	伊 波 廣 助	平成4年5月1日	
4代	〃	濱 元 朝 晴	平成23年10月1日	現在



組 織 ・ 人 事

組 織 人 事 概 要

平成30年4月1日より消防署の人員を増員し、消防署に配備している2台の高規格救急自動車を連続して救急出動させることが可能になり、救急体制の強化が図られました。

令和3年4月より職員定数を105人に引き上げ、併せて年々増加する防火対象物に対する予防業務や、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区返還後の開発等による予防関係業務の増大に対応するため、予防課の人員を増員しています。令和4年度には、本市初となる女性消防職員1名を採用。また、地域防災の中核となる消防団の充実強化や、消防車両及び資機材等の整備を計画的に行い年々複雑多様化する災害に対応する消防体制の維持・強化を図るため、警防課の人員も増員しています。令和6年度より真志喜出張所に高規格救急自動車を2台配備し、市内で計5隊の救急隊の運用が可能となりました。

・消防職員定数の推移

	～	平成7年3月	平成26年4月	平成29年4月	令和3年4月
消防職員定数	～	80	86	91	105

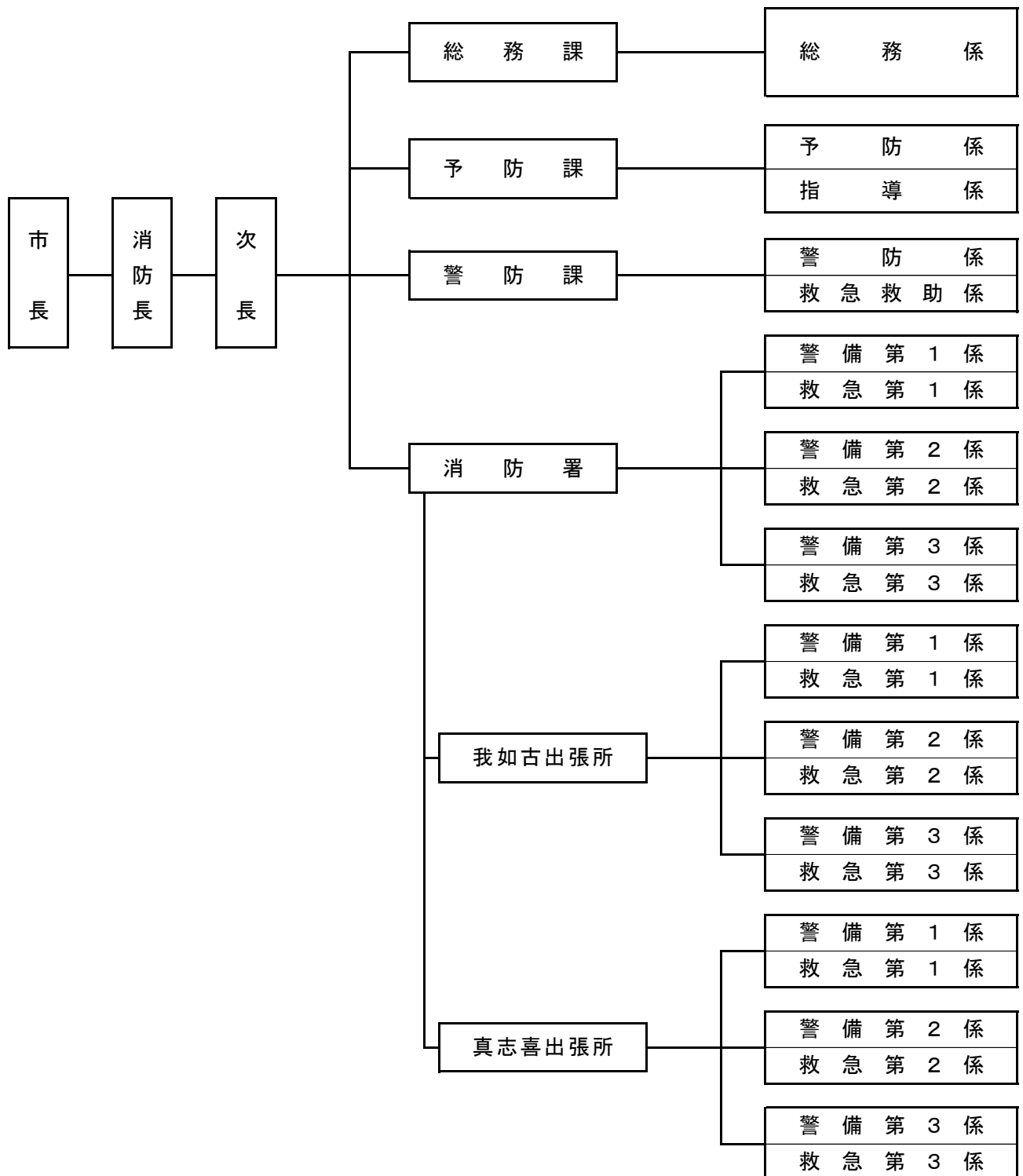
・過去5年の消防本部職員数(他機関等出向者含む)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消防本部職員数	91	91	94	96	98	99

・過去5年の署所の一日当たりの配置人員

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消防署	11	11	11	12	12	12
我如古出張所	6	6	6	6	6	6
真志喜出張所	6	6	6	6	6	6

宜野湾市消防本部組織図



消防本部・消防署の事務分掌

《総務課》

- 1 消防本部内の事業管理業務に係る次の事項に関すること。
 - (1) 部の諸計画の調整と立案
 - (2) 部の業務執行方針と統括
 - (3) 部の業務及び予算の執行管理
 - (4) 部の予算編成及び決算調整
 - (5) 部の事務改善、条例、規則、訓令の改廃等
 - (6) 部の伝票管理(支出負担行為、支出命令、調定行為等)
- 2 職員及び団員の任免、分限、服務、賞罰に関すること。
- 3 職員及び団員の公務災害補償に関すること。
- 4 職員及び団員の福利厚生に関すること。
- 5 職員の給与及び団員の報酬に関すること。
- 6 職員の配置及び勤務に関すること。
- 7 職員の貸与品に関すること。
- 8 職員の研修及び教養に関すること。
- 9 表彰に関すること。
- 10 儀式、その他諸行事に関すること。
- 11 公印の保管に関すること。
- 12 物品の維持管理に関すること。
- 13 施設の維持管理に関すること。
- 14 消防統計(火災及び救急救助統計を除く。)に関すること。
- 15 消防長会及び消防協会に関すること。
- 16 沖縄県消防通信指令施設運営協議会に関すること。
- 17 他の課の所管に属しないこと。

《予防課》

- 1 火災予防諸計画に関すること。
- 2 火災予防の指導及び広報に関すること。
- 3 防火管理者の選任及び指導に関すること。
- 4 危険物の許可、認可及び規制に関すること。
- 5 避難管理に関すること。
- 6 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。

- 7 煙火、高圧ガスその他特殊な物質の防火に関する事。
- 8 建築物の確認、許認可の同意に関する事。
- 9 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 10 予防査察及び防火指導に関する事。
- 11 火気及び電気使用設備、器具等の防火に関する事。
- 12 火災調査に関する事。
- 13 防災処理に関する事。
- 14 自衛消防組織の育成指導に関する事。
- 15 火災統計及び消防詳報に関する事。
- 16 災害による諸証明の発行に関する事。
- 17 火災予防条例に基づく諸届出の受理及び規制に関する事。

《警防課》

- 1 警防計画に関する事。
- 2 水火災その他災害の警戒防御に関する事。
- 3 消防通信機器の運用に関する事。
- 4 消防水利の設置計画及び対策に関する事。
- 5 各種講習会の計画に関する事。
- 6 消防署員及び団員の教養、訓練、演習等の計画実施に関する事。
- 7 消防自動車及び機械器具の整備点検及び維持管理に関する事。
- 8 消防自動車の登録及び車検に関する事。
- 9 消防相互応援協定に関する事。
- 10 災害報告及び統計に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 救急業務の講習、計画及び実施指導に関する事。
- 13 救急報告、救助報告及び救急救助統計に関する事。
- 14 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- 15 火災予防条例第45条第2号及び第6号に基づく届出の受理に関する事。
- 16 気象情報に関する事。
- 17 その他警防庶務に関する事。

《消防署・出張所》

- 1 水火災、救急、救助、その他災害の警戒防御に関すること。
- 2 水火災、救急、救助、その他災害の受報及び出動指令に関すること。
- 3 水火災、救急及び救助業務の実施に関すること。
- 4 消防特別警戒の実施に関すること。
- 5 消防水利の調査及び点検に関すること。
- 6 消防通信に関すること。
- 7 気象情報及び火災警報に関すること。
- 8 自衛消防の訓練指導に関すること。
- 9 防火対象物及び消防対象物の立入検査に関すること。
- 10 火災、その他諸災害の原因及び損害の調査に関すること。
- 11 火災予防条例第45条(第2号及び第6号を除く。)に基づく届出の受理に関すること。
- 12 消防署員の教養、訓練、演習等の計画実施に関すること。
- 13 消防団員の訓練指導に関すること。
- 14 庁舎、消防用車両及び機械器具等の維持管理に関すること。
- 15 その他消防署庶務に関すること。

職 員 配 置 状 況

令和6年4月1日現在

階 級 区 分			消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
消 防 本 部	消 防 長		1							1
	総 務 課	次長兼総務課長		1						1
		総 務 係 長				1				1
		総務担当主査				1				1
		総 務 係					1	1		2
		そ の 他（派遣等）			1	2	1			4
		予 防 課	予 防 課 長			1				
	予 防 係 長					1				1
	予 防 係						2	1		3
	指 導 係 長					1				1
	指 導 係						1			1
	警 防 課	警 防 課 長			1					1
		警 防 係 長				1				1
		警防担当主査				1				1
		救急救助係長				1				1
		救急救助係					1			1
	小 計		1	1	3	9	6	2	0	22
消 防 署	消 防 署	署 長			1					1
		管理担当主査				1				1
		警 備 第 1 係				2	2	3	2	9
		救 急 第 1 係				1	1	1		3
		警 備 第 2 係				2	2	3	2	9
		救 急 第 2 係				1	1		1	3
		警 備 第 3 係				2	2	2	2	8
		救 急 第 3 係				1	1	1		3
	我 如 古 出 張 所	所 長			1					1
		警 備 第 1 係				1	1		1	3
		救 急 第 1 係				1	1		1	3
		警 備 第 2 係				1	1		1	3
		救 急 第 2 係				1	1	1		3
		警 備 第 3 係				1	1	1		3
		救 急 第 3 係				1	1		1	3
		真 志 喜 出 張 所	所 長			1				
	管理担当主査					1				1
	警 備 第 1 係					1	1		1	3
	救 急 第 1 係					1		2		3
	警 備 第 2 係					1	1	1		3
	救 急 第 2 係					1	1		1	3
	警 備 第 3 係					1	2	1		4
	救 急 第 3 係					1	1		1	3
	小 計		0	0	3	23	21	16	14	77
合 計		1	1	6	32	27	18	14	99	

消防職員定数及び実数

令和6年4月1日現在

区分 \ 階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他職員	計
階級章									
定数	105								105
実数	1	1	6	32	27	18	14	0	99

年度別職員数

令和6年4月1日現在

年度 \ 階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他職員	計
平成25年度	0	1	6	29	19	4	24	0	83
平成26年度	0	1	6	31	21	10	17	0	86
平成27年度	0	1	7	30	20	9	19	0	86
平成28年度	0	1	7	30	19	9	24	0	90
平成29年度	0	1	7	29	21	9	24	0	91
平成30年度	0	1	7	30	20	13	22	0	93
令和元年度	0	1	7	31	19	14	19	0	91
令和2年度	0	1	7	30	20	14	19	0	91
令和3年度	1	1	6	28	25	12	21	0	94
令和4年度	1	1	6	29	25	14	20	0	96
令和5年度	1	1	6	30	27	18	15	0	98
令和6年度	1	1	6	32	27	18	14	0	99

職員の階級別・年齢別構成表

令和6年4月1日現在

年 齢	総 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	99	1	1	6	32	27	18	14
18歳	0							
19歳	0							
20歳	2							2
21歳	2							2
22歳	0							
23歳	2							2
24歳	0							
25歳	1							1
26歳	2						1	1
27歳	5						4	1
28歳	3						2	1
29歳	3						3	
30歳	5						1	4
31歳	3					1	2	
32歳	4					1	3	
33歳	3					1	2	
34歳	5					5		
35歳	3					3		
36歳	4				1	3		
37歳	2				1	1		
38歳	6				2	4		
39歳	6				4	2		
40歳	4				2	2		
41歳	3				1	2		
42歳	3				3			
43歳	0							
44歳	2				2			
45歳	0							
46歳	1				1			
47歳	0							
48歳	1				1			
49歳	0							
50歳	4				3	1		
51歳	2			1	1			
52歳	5			2	3			
53歳	2				2			
54歳	3				3			
55歳	4		1	1	2			
56歳	0							
57歳	0							
58歳	2			2				
59歳	1	1						
60歳	1					1		
平 均 年 齢		59.0	55.0	54.3	45.9	37.7	29.5	25.3
全 体 平 均 年 齢		37.9						

職員の階級別・勤続年数別構成表

令和6年4月1日現在

年 数	総 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	99	1	1	6	32	27	18	14
0 年	1							1
1 年	3							3
2 年	3						1	2
3 年	4						2	2
4 年	2						1	1
5 年	1							1
6 年	6						3	3
7 年	5						5	
8 年	5						4	1
9 年	4					4		
10 年	3				1	1	1	
11 年	3					2	1	
12 年	8					8		
13 年	3				2	1		
14 年	4				2	2		
15 年	5					5		
16 年	3				2	1		
17 年	5				5			
18 年	1				1			
19 年	2				1	1		
20 年	0							
21 年	2				2			
22 年	1				1			
23 年	0							
24 年	0							
25 年	1				1			
26 年	3				3			
27 年	0							
28 年	1			1				
29 年	12		1	1	9	1		
30 年	4			2	2			
31 年	0							
32 年	0							
33 年	0							
34 年	0							
35 年	2			1		1		
36 年	1	1						
37 年	1			1				
38 年	0							
39 年	0							
40 年	0							

職員の教育訓練状況

令和6年4月1日現在

派遣先			年度別	昭和42年度 ～ 平成26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	計
消防大学校	教 育 合 計	幹 部 科	3					1						4
		警 防 科	7			1							8	
		救 助 科	2						1				3	
		火 災 調 査 科	6										6	
		そ の 他	11										11	
沖縄 県 消 防 学 校	専 科 教 育	初 任 教 育	100	3	5	5	4	1	1	2	2	3	126	
		警 防 科	32	1		1		1			2		37	
		救 助 科	23		2		2	2			2	1	32	
		特 殊 災 害 科	8		2		2			1		1	14	
		危 険 物 科	7		1		1			1		1	11	
		予 防 査 察 科	16	1	1	1		1	1	1	1	1	24	
		火 災 調 査 科	11			1		1			1		14	
		救急科（救急Ⅰ・Ⅱ含む）	138	3	4	5	2	1	1	1	1	2	158	
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	14										14	
		中 級 幹 部 科	13									1	14	
		上 級 幹 部 科	2			1		1					4	
	特 別 教 育	水 難 救 助 研 修	14	2		2		1			2		21	
		ポンプ操法指導員研修	12	2		2		1		1		1	19	
		防火管理指導員研修	6		1	1	1	1			1	1	12	
		救 急 隊 長 研 修									2	2	4	
		救急救命士処置拡大研修		2	4	6	8	3					23	
		新任救急隊員(救命士)研修		2	2		1			1	1	1	8	
		気管挿管・薬剤投与追加講習	21										21	
	救 急 救 命 研 修 所	救急救命士養成研修	9			1				1			11	
		薬 剤 投 与 追 加 講 習	6										6	
		指 導 救 命 士 研 修		1	1	1					1		4	
県 外 研 修		福岡市消防学校警防実務研修	5	1						1			7	
		福岡市消防学校予防実務研修	5	1	1						1		8	
		福岡市消防学校救急実務研修				1							1	
		福岡市消防学校九州地区大規模災害対応実務研修										1	1	
		市 町 村 ア カ デ ミ ー 研 修	8	1	1	1	1	1			1	1	15	
		東京消防庁受託研修	1			1							2	
そ の 他 研 修		移動式クレーン・玉掛講習	42	3	2	2	2	3		2		2	58	
		硫化水素・酸素欠乏作業講習	16	3					2	2	2	2	27	
		チェーンソー取扱講習			2	2							4	
		圧 縮 空 気 保 安 講 習			3	2	2	3	2	2	2	2	18	
		整備管理者選任前研修					4	7					11	
		墜落制止用器具特別教育							2		2		4	
		可搬消防ポンプ等整備資格者講習					1						1	
計			538	26	32	37	32	28	10	16	24	23	766	

職員の資格・技能取得状況

令和6年4月1日現在

種 別 \ 階 級 別			消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
免 許 自 動 車 運 転	普 通 免 許		1	1	6	32	27	18	14	99
	大 型 免 許		1	1	6	32	27	18	8	93
予 防 関 係	予 防 技 術 資 格 者	査 察		1	2	5	1			9
		設 備 等			2	5	1			8
		危 険 物			2	2	1			5
	予 防 技 術 検 定 合 格 者	査 察	1	1	2	15	17	9		45
		設 備 等	1			6	1	1		9
		危 険 物	1			4				5
	消 防 設 備 士 免 状	甲 種								0
		乙 種	1		1	3	2	1	1	9
	危 険 物 取 扱 者 免 状	甲 種								0
		乙 種	1	1	3	19	11	10	7	52
救 急 関 係	救 急 救 命 士					21	8	5	5	39
	薬 剤 投 与 実 施 認 定 者					20	8	5	5	38
	気 管 挿 管 実 施 認 定 者					12	4	1		17
	処 置 拡 大 実 施 認 定 者					19	8	5	5	37
	J P T E C プ ロ バ イ ダ ー				1	10	11	10	5	37
日 赤	救 急 法 指 導 員					1				1
	救 急 適 任 者 証				1	4	7	1		13
そ の 他 の 免 許	潜 水 士 免 許		1	1	5	29	25	13	6	80
	小 型 船 舶 免 許		1	1	6	31	25	14	13	91
	特 殊 無 線 技 士	無 線 電 話 (甲)					1			1
		無 線 電 話 (乙)	1		1					2
		第 二 級 陸 上		1	3	4	2	1	1	12
		第 三 級 陸 上			2	28	24	17	12	83
	小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習 修 了 者		1		4	16	17	3		41
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		1		4	11	16	3		35
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 作 業 主 任 者		1		1	17	5			24
	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者					3				3
	電 気 工 事 士 免 許					1				1
	第 2 種 衛 生 管 理 者 免 許		1		2	6	1			10
	安 全 衛 生 推 進 者 養 成 講 習 修 了 者				4	6	2			12
	ロープ 高 所 作 業 特 別 教 育					1	2			3
	フルハーネス型 墜 落 制 止 用 器 具 特 別 教 育					2	3			5

消 防 職 員 表 彰

令和6年4月1日現在

表 彰 者		年 度	～平成 29年度	令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	計
総 務 大 臣	総務大臣表彰（緊援隊）		1						1
消 防 庁 長 官	功 勞 章		5		1				6
	永 年 勤 続 功 勞 章		5		1			1	7
	表 彰 旗		1						1
全 国 消 防 長 会 長	消 防 特 別 功 勞 者 表 彰		2						2
	消 防 行 政 功 勞 者 表 彰		1		1				2
	20 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		64						64
	25 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		50						50
	30 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		41					4	45
	35 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		6						6
全 国 消 防 協 会 長	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰		25						25
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章		10						10
	精 績 章		28						28
	勤 続 章		46	2				4	52
沖 縄 県 知 事	功 勞 章		4						4
	永 年 勤 続 功 勞 章		27	1			1	1	30
沖 縄 県 消 防 協 会 長	優 良 消 防 職 員 表 彰		94						94
	勤 続 章		88		2	1	5	3	99
	水 難 救 助 表 彰		1						1
	特 別 表 彰		3						3
沖 縄 県 消 防 協 会 中 部 地 区 支 会 長	20 年 勤 続 表 彰		73			1		2	76
	30 年 勤 続 表 彰		46					4	50
安全協会(支部長) “ (連合会会長)	優 良 運 転 者 表 彰		12						12
	“		9						9
宜 野 湾 市 長	善 行 章（出張所警備第二係）		1						1
	優 良 消 防 職 員 表 彰		1						1
	15 年 勤 続 表 彰		9						9

元 消 防 職 団 員 叙 勲 受 章 者

令和6年4月1日現在

階 級	氏 名	叙 勲 種 別	勲 章 名	受 章 年 月 日
元消防司令長	大 城 仁 幸	消 防 関 係 者 叙 勲	勲五等双光旭日章	平 成 15 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	知 名 朝 勇	第4回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令	多 和 田 真 忠	第5回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 一 夫	第6回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 18 年 4 月 29 日
元 副 団 長	大 城 正 吉	平 成 21 年 秋 の 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 21 年 11 月 3 日
元 消 防 監	多 和 田 真 隆	第14回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 22 年 4 月 29 日
元 消 防 監	上 江 洲 勇	第19回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 24 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 眞 光	第22回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 26 年 4 月 29 日
元消防司令長	呉 屋 正 成	第23回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 26 年 11 月 3 日
元消防司令長	仲 村 春 栄	第25回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 27 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	泉 川 光 喜	第27回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 28 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	古 波 藏 正 英	第29回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 29 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	伊 佐 禎 一 郎	第31回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 30 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	渡 慶 次 喜 光	第32回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 元 年 5 月 21 日
元消防司令長	大 嶺 清 光	第33回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	令 和 元 年 11 月 3 日
元消防司令長	米 須 清 一	第34回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	令 和 2 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令	呉 屋 信 栄	第35回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 2 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	具 志 堅 重 光	第36回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 3 年 4 月 29 日

消防力の整備指針と現有消防力との比較

令和6年4月1日現在

区 分		車 両 等			人 員		
		算定数	整備数	不足数	算定数	現員数	不対算 不足定 数に
署 所		3	3	0	ア	イ	アーイ
警 防 要 員	指 揮 車	1	1	0	9	77	—
	消防ポンプ自動車	6	6	0	86		—
	は し ご 車	1	1	0	0 注1		—
	救 助 工 作 車	1	1	0	16		—
	特 殊 車 等	1	1	0	0 注1		—
	救 急 自 動 車	5	5	0	9 注2		—
	小 計	15	15	0	120	77	43
通 信 員		—	—	—	4	4 注3	—
予 防 要 員		—	—	—	18	10	8
専任の予防要員		—	—	—	15	7	
警防要員をもって充てる人員数		—	—	—	3	3	
総務事務等の執行の要員		—	—	—	11	11	0
総 数		15	15	0	150 注4	99 注4	51

※算定数は令和4年度消防施設整備計画実態調査で算出した数値を使用しています。

◎算定数（ア）に対する充足率 99人÷150人≒66%

注1 はしご車及び特殊車等（水槽車）については、乗換運用となっています。

注2 救急車4台のうち3台は兼務運用のため算定数には計上していません。

注3 通信員の現員数にあつては沖縄県消防指令センター派遣職員となっています。

注4 人員における算定数及び現員数の総数は「警防要員」「通信員」「専任の予防要員」「総務事務等の執行の要員」を足した数となっています。

面積・人口・世帯数に対する消防力

令和6年4月1日現在

区 分	職 員 1 人 当 り	救 急 車 1 台 当 り	ポ ン プ 車 1 台 当 り
面 積	0.20 K m ²	3.96 K m ²	3.30 K m ²
(19.8 K m ²)			
人 口	1,010 人	20,002 人	16,668 人
(100,009 人)			
世 帯 数	480 世帯	9,499 世帯	7,916 世帯
(47,497 世帯)			

消防相互応援協定等の状況

令和6年4月1日現在

協定の名称	協定機関	内容	締結年月日
消防相互援助協約	バトラー消防本部(米軍基地内)	火災 その他の災害	平成23年1月19日
沖縄自動車道における 消防相互応援協定	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市	火災、救急 その他の災害	平成30年8月31日
沖縄自動車道における 消防及び救急等の業務に 関する覚書	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市 沖縄県防災危機管理課 西日本高速道路	火災、救急 その他の災害	平成31年2月18日
緊急消防援助隊要綱	全国消防機関	大規模災害	平成7年10月30日
救急救命士の業務運用 に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成12年2月25日
沖縄県消防 相互応援協定	名護市、うるま市、沖縄市、浦添市、那覇市、 豊見城市、糸満市、久米島町、宮古島市、 石垣市 国頭地区行政事務組合 本部町今帰仁村消防組合 金武地区消防衛生組合 比謝川行政事務組合、中城北中城消防組合 東部消防組合、島尻消防清掃組合	火災、救急 その他の災害	平成18年8月1日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	沖縄県立中部病院	救急業務	平成16年4月1日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成16年8月2日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	沖縄県立 中部病院 特定医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 社会医療法人敬愛会 中頭病院 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医療法人緑水会 宜野湾記念病院	救急業務	平成19年4月1日
災害・事故等における 医師等の現場派遣に 関する協定書	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成24年3月21日
災害・事故等における 医師等の現場派遣に 関する協定書	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	救急業務	平成29年4月1日
沖縄県中部保健所管内 におけるエボラ出血熱の 患者の移送協力に 関する協定書	沖縄県中部保健所	救急業務	令和元年11月1日
災害時における消防用水 の確保に関する協定書	うるま市、沖縄市、比謝川行政事務組合 中城北中城消防組合、浦添市 沖縄県生コンクリート協同組合	火災 その他の災害	令和2年12月22日
災害時における消防応急 対策業務に関する協定書	株式会社丸内	火災 その他の災害	令和5年6月7日



消 防 団 関 係

宜野湾市消防団は”地域に根差した活動”をモットーに市内に在住・在勤している32名が活動しています。月例の訓練や防災イベントへの出席を通し、地域住民の防災意識向上に携わっています。

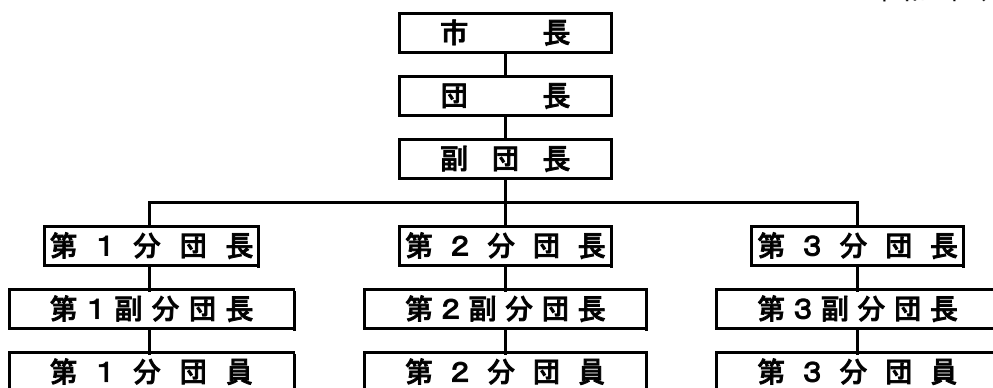
令和4年度から、消防団員の年額報酬の増額及び出動報酬を新設し、処遇の改善を図っております。

～令和5年度の主な活動実績～

4月	「琉球海炎祭2023」警戒活動	6月	台風6号襲来に伴う非常招集
9月	沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会	12月	宜野湾市地震・津波避難訓練

宜野湾市消防団組織図

令和6年4月1日現在



消防団員定数及び実数

令和6年4月1日現在

階級 区分	団長		副団長		分団長		副分団長		団員		計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
定数	40										40
実数	1	-	1	-	3	-	1	2	19	5	32
18～25歳									1		1
26～30歳									2	1	3
31～35歳									5	1	6
36～40歳								1	4	1	6
41～45歳					1				2		3
46～50歳					1				4	1	6
51～55歳			1		1		1		1	1	5
56歳～	1							1			2
平均年齢	68.0	-	54.0	-	47.7	-	55.0	51.0	38.8	40.8	42.6

消防団員の報酬及び費用弁償額

令和6年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	団員
年額報酬	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	36,500円
費用弁償	1,000円(1日につき)				
出動報酬	災害8,000円、警戒6,000円、訓練5,000円、その他5,000円 ※1日につき(4時間以上の場合)				
	災害4,000円、警戒3,000円、訓練3,000円、その他3,000円 ※1日につき(4時間未満の場合)				

消 防 団 員 活 動 状 況

令和5年度

月 別 \ 区 分	火 災		風 水 害 等		警 戒		訓 練 ・ 研 修		そ の 他		計	
	回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員
4 月					1	6	3	56	2	2	6	64
5 月							3	50	2	2	5	52
6 月							3	38	1	2	4	40
7 月							3	48	1	1	4	49
8 月			3	10			4	70	3	12	10	92
9 月					2	6	12	187	3	12	17	205
10 月					1	4	13	110	2	2	16	116
11 月					1	3	6	54	8	20	15	77
12 月					2	20	3	38	2	13	7	71
1 月					1	4	4	22	4	28	9	54
2 月					1	1	7	53	7	15	15	69
3 月							7	49	5	18	12	67
計	0	0	3	10	9	44	68	775	40	127	120	956

消 防 団 員 の 装 備

令和6年4月1日現在

装 備 別	防 火 衣 一 式	救 助 用 半 長 靴	特 定 小 電 力 無 線 機	救 命 胴 衣	投 光 器	拡 声 器	AED
装 備 数	22	30	36	30	3	8	1

消 防 団 員 表 彰

令和6年4月1日現在

表 彰 別 \ 年 度 別		～ 平成 30 年度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	計
消 防 庁 長 官	消防団地域活動表彰(団体)	1						1
	表 彰 旗	1						1
	功 勞 章		1					1
沖 縄 県 知 事	永 年 勤 続 功 勞 章	1						1
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章	1						1
	精 績 章	5	1		1			7
	勤 続 章	1						1
	竿 頭 綬 (団 体)	1						1
沖 縄 県 消 防 協 会 長	功 勞 章	2						2
	永 年 勤 続 章	17			1		2	20
	優 良 消 防 団 員 章	31						31
沖 縄 県 消 防 協 会 長 中 部 地 区 支 会 長	功 勞 表 彰							0
	永 年 勤 続 表 彰 (10 年)	23				1	2	26
	永 年 勤 続 表 彰 (20 年)	10						10
	永 年 勤 続 表 彰 (30 年)	2		1				3

消 防 予 算

宜野湾市救急救命士 人件費助成事業について

宜野湾市消防署に配置している救急救命士の人件費について、令和5年度特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しました。

事業名称 : 宜野湾市救急救命士人件費助成事業
事業実施期間 : 令和5年9月1日から令和6年3月29日
事業所要額 : 87,820,541円
交付金額 : 65,000,000円



令和5年度特定防衛施設
周辺整備調整交付金

令和5年度消防予算・決算及び令和6年度消防予算

(歳入)

(単位:円)

款	項	令和5年度当初予算	令和5年度決算見込	令和6年度当初予算
使用料及び手数料	2. 手 数 料	433,000	1,579,800	433,000
国庫支出金	2. 国 庫 補 助 金	95,000,000	95,000,000	174,838,000
県支出金	2. 県 補 助 金	3,305,000	3,305,000	3,305,000
諸 収 入	4. 雑 入	1,511,000	2,155,623	1,754,000
市 債	1. 市 債	8,100,000	4,400,000	247,800,000
歳 入 合 計		108,349,000	106,440,423	428,130,000

(歳出)

(単位:円)

目	節	令和5年度当初予算	令和5年度決算見込	令和6年度当初予算
常 備 消 防 費	報 酬	3,486,000	3,684,778	3,890,000
	給 料	329,405,000	334,136,500	341,988,000
	職 員 手 当 等	270,233,000	268,443,739	281,308,000
	共 済 費	126,954,000	122,864,855	129,207,000
	報 償 費	12,000	12,000	13,000
	旅 費	1,969,000	1,033,220	1,814,000
	需 用 費	32,442,000	28,352,476	29,187,000
	役 務 費	8,814,000	7,132,170	8,881,000
	委 託 料	7,265,000	6,011,890	7,413,000
	使用料及び賃借料	1,139,000	900,518	681,000
	工 事 請 負 費	2,085,000	3,963,300	2,850,000
	原 材 料 費	39,000	12,447	41,000
	備 品 購 入 費	7,061,000	6,425,626	5,466,000
	負担金、補助及び交付金	24,031,000	22,018,607	163,631,000
	補償、補填及び賠償金	0	0	0
	公 課 費	1,365,000	1,197,400	653,000
非 常 備 消 防 費	報 酬	4,813,000	4,477,146	4,813,000
	旅 費	1,038,000	947,000	1,038,000
	需 用 費	845,000	769,601	463,000
	役 務 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	93,000	0	93,000
	負担金、補助及び交付金	2,351,000	2,348,968	2,351,000
消 防 施 設 費	職 員 手 当 等	199,000	198,507	424,000
	旅 費	114,000	53,340	558,000
	需 用 費	10,000	0	11,000
	役 務 費	89,000	76,010	428,000
	委 託 料	11,269,000	11,209,000	33,979,000
	工 事 請 負 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	39,199,000	39,197,980	254,329,000
	負担金、補助及び交付金	21,068,000	16,414,000	17,375,000
	公 課 費	66,000	65,600	279,000
歳 出 合 計		897,454,000	881,946,678	1,293,164,000

市予算と消防予算の推移

(単位:千円)

区 分 年度別	市予算総額(当初)	消防予算(当初)	総予算に占める 消防予算(%)	備 考
平成27年度	36,897,000	862,613	2.3	
平成28年度	40,205,000	712,819	1.8	
平成29年度	42,656,000	888,552	2.1	
平成30年度	45,354,000	856,337	1.9	
令和元年度	44,840,000	840,522	1.9	
令和2年度	46,090,000	1,112,122	2.4	
令和3年度	48,510,000	1,231,332	2.5	
令和4年度	49,870,000	888,005	1.8	
令和5年度	51,360,000	905,233	1.8	
令和6年度	54,380,000	1,293,164	2.4	

市民1人当たり・1世帯当りの消防費の推移

区 分 年度別	1人当たり(円)	1世帯当たり(円)	算 定 の 基 礎	
			人 口	世 帯 数
平成27年度	8,943	20,935	96,453	41,205
平成28年度	7,334	17,003	97,194	41,924
平成29年度	9,098	20,828	97,662	42,662
平成30年度	8,752	19,802	97,845	43,245
令和元年度	8,533	19,051	98,502	44,119
令和2年度	11,172	24,641	99,549	45,133
令和3年度	12,308	26,790	100,042	45,962
令和4年度	8,889	19,163	99,902	46,340
令和5年度	9,074	19,343	99,757	46,798
令和6年度	12,930	27,226	100,009	47,497

令和6年度予算概要

<令和5年度予算との比較>

- ・ 令和6年度消防当初予算は12億9,316万円で、令和5年度と比べ、3億8,793万1千円増加し、前年度比約43%の増。
- ・ 市総予算に占める消防予算の割合は2.4%。前年度比0.6%の増。
- ・ 「市民1人当たりの消防費」は12,930円。前年度比約42%の増。
「1世帯当たりの消防費」は27,226円。前年度比約41%の増。

※前年度から大幅増となった主な要因として、老朽化した消防本部庁舎の増築・改修事業及び沖縄県消防指令センターの全体更新事業に係る機器の整備事業があります。

<令和6年度の主な事業>

- ・ 消防本部庁舎増築・改修事業(実施設計・地質調査)……………34,713千円
- ・ 消防指令センター関連事業(整備機器・設計監理)……………142,294千円
- ・ 消防自動車購入事業……………248,380千円
(救助工作車及び水槽付き消防ポンプ自動車)

消防施設機械

《 過去1年間の施設機械状況 》

- ◇ 市民及び関係業者の利便性の向上を図るため、電子申請関連資機材を整備し火災予防分野における各種手続きの電子申請が可能となりました。
- ◇ 令和5年度に国及び県の補助金を活用し、高規格救急自動車及び災害消防用広報車を整備しました。これにより、令和6年度から救急隊の5隊運用が可能となりました。

消防本部及び署所の名称・位置

名 称	位 置
宜 野 湾 市 消 防 本 部	宜 野 湾 市 字 野 嵩 6 7 7 番 地
宜 野 湾 市 消 防 署	〃
宜野湾市消防署我如古出張所	宜 野 湾 市 我 如 古 三 丁 目 2 番 1 号
宜野湾市消防署真志喜出張所	宜 野 湾 市 真 志 喜 三 丁 目 2 5 番 3 号

消 防 庁 舎 概 要

面積等 区 別	敷地面積	構 造	建築面積	建 築	竣工年月日
				延べ面積	
消 防 本 部 消 防 署	3, 323. 64㎡	RC造2階建	1, 444. 34㎡	1, 916. 65㎡	昭和60年 11月26日
我如古出張所	1, 647. 46㎡	RC造3階建	569. 28㎡	878. 90㎡	令和4年 2月14日
真志喜出張所	2, 358. 92㎡	RC造2階建	554. 35㎡	676. 99㎡	平成7年 3月23日
訓練塔(主塔)		RC造5階建	38. 62㎡	143. 10㎡	平成8年 3月21日
訓練塔(副塔)		RC造3階建	36. 00㎡	108. 00㎡	
計	7, 330. 02㎡		2, 642. 59㎡	3, 723. 64㎡	

消 防 通 信 施 設

1. 消防業務用有線電話回線

令和6年4月1日現在

所属	用 途 別	電 話 番 号	備 考
消 防 本 部	総 務 課	098-892-2299	災害時優先電話
	予 防 課	098-892-1850	
	警 防 課	098-896-2548	
	消 防 署	098-892-1199	災害時優先電話
	消 防 署 F A X 兼 用	098-892-3057	
	F A X 専 用	098-892-5300	
我 出 如 張 古 所	代 表	098-897-1210	
	F A X 専 用	098-897-5899	
真 出 志 張 喜 所	代 表	098-890-4399	
	F A X 専 用	098-890-3953	

2. 消防救急デジタル無線(基地局2局、移動局46局)

令和6年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
おきしょうぎのわん	基地局	5K80G1E 5K80G1D	20W	消防本部(署)
おきしょうえはら	〃	〃	10W	西原町上原高台公園
しょうぼうぎのわん	陸上移動局 (卓上)	〃	5W	消防本部(署)
しょうぼうがねこ	〃	〃	〃	我如古出張所
しょうぼうましき	〃	〃	〃	真志喜出張所
ぎのわんかはん1	陸上移動局 (可搬)	〃	〃	消防本部(署)
ぎのわんしき1	陸上移動局 (車載)	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうきゅう2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんたんく1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうじょ1	〃	〃	〃	〃

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんはしご1	陸上移動局 (車載)	5K80G1E 5K80G1D	5W	消防本部(署)
ぎのわんしれい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんよぼう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんしえん1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんゆそう1	〃	〃	〃	〃
がねこしき1	〃	〃	〃	我如古出張所
がねこきゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきしき1	〃	〃	〃	真志喜出張所
ましききゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきすいなん1	〃	〃	〃	〃
ましきせきさい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわん101～111	陸上移動局 (携帯)	〃	2W	消防本部(署)
がねこ101～104	〃	〃	〃	〃
ましき101～105	〃	〃	〃	〃

3. 400MHzアナログ無線(署活波34局)

令和6年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわん201～218	陸上移動局 (携帯)	F3E F2D	1W	消防本部(署)
がねこ201～207	〃	〃	〃	我如古出張所
ましき201～209	〃	〃	〃	真志喜出張所

4. 150MHzアナログ無線(防災相互波3局)

令和6年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんぼうさい1～3	陸上移動局 (携帯)	16KOF3E	5W	真志喜出張所

消 防 水 利 の 現 況

令和6年4月1日現在

種 別 行政 区 別	消 火 栓	防 火 水 そ う	学 校 プ ー ル	合 計
野 嵩 1 区	37	1		38
野 嵩 2 区	7			7
野 嵩 3 区	6			6
普 天 間 1 区	8	1	2	11
普 天 間 2 区	8			8
普 天 間 3 区	28			28
新 城 区	12			12
喜 友 名 区	17	1 (1)		18 (1)
伊 佐 区	25	3 (1)		28 (1)
大 山 区	64	7 (5)	1	72 (5)
真 志 喜 区	34	5 (3)	1	40 (3)
宇 地 泊 区	27	2 (2)		29 (2)
大 謝 名 区	30	3 (1)	1	34 (1)
嘉 数 区	35	2 (1)		37 (1)
真 栄 原 区	50	2 (2)		52 (2)
我 如 古 区	51	4 (3)		55 (3)
長 田 区	48		1	49
宜 野 湾 区	34	2 (1)	1	37 (1)
愛 知 区	40	1	1	42
中 原 区	41		1	42
計	602	34 (20)	9	645 (20)

()は私設

算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率
515	469	46	91.1%

※「算定数」「整備数」は、消防施設整備計画実態調査に用いる算定方式(メッシュ方式)にて算定した数。

現 有 消 防 車 両

令和6年4月1日現在

種 別	現 場 指 揮 車	予 防 広 報 車	指 揮 広 報 車	指 揮 支 援 車	連 絡 車	資 機 材 搬 送 車	防 災 活 動 車	自 高 規 格 救 車 急	ポ 水 ン 槽 付 自 動 消 車 防	消 防 ポ ン プ 自 動 車	救 助 工 作 車	自 は し ご 付 消 車 防	水 小 型 動 力 ポ ン プ 付 車	緊 急 人 員 輸 送 車	救 急 予 備 車	ポ ン プ 予 備 車	計
台 数	1	2	1	1	1	4	1	5	4	3	1	1	1	1	1	1	29

消 防 用 車 両 配 置 一 覧 表

令和6年4月1日 現 在

名 称	車 名	登録年月日	経過年数	車 種	乗車定員	車両番号	排気量(ℓ)	ポンプ製作所・規格	積載水(ℓ)	総重量(kg)	補 助 別
消 防 本 部											
1号車	現 場 指 揮 車	平成28年2月1日	8年	ニッサン	8人	沖縄 801 す 1	2.48			2,410	平成27年度石油貯蔵施設
2号車	災 害 用 広 報 車	令和6年1月23日	0年	ニッサン	6人	沖縄 800 の 2	1.99			3,195	令和5年度石油貯蔵施設
4号車	連 絡 車	平成22年6月30日	13年	マ ツ ダ	4人	沖縄 580 ね 2226	0.65			1,030	単 独
19号車	指 揮 支 援 車	平成26年1月31日	10年	マ ツ ダ	5人	沖縄 830 せ 19	2.18			1,915	平成25年度石油貯蔵施設
消 防 署											
5号車	資 機 材 搬 送 車	平成19年12月26日	16年	ニッサン	5人	沖縄 800 す 5	1.99			2,955	平成19年度石油貯蔵施設
6号車	高 規 格 救 急 自 動 車	令和2年2月13日	4年	ト ヨ タ	8人	沖縄 830 て 6	2.69			3,120	令和元年度防衛調整交付金
12号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成30年3月22日	6年	日 野	6人	沖縄 830 ち 12	5.12	日本機械A-2	2,000	10,660	平成29年度防衛調整交付金
13号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成18年2月21日	18年	い す ゞ	6人	沖縄 831 せ 119	7.79	森田ポンプA-2	2,000	12,340	平成17年度総務省消防庁
15号車	救 助 工 作 車	平成17年3月18日	19年	い す ゞ	6人	沖縄 800 は 668	9.83			14,280	平成16年度防衛庁
16号車	はしご付消防自動車(40m級)	令和3年11月19日	2年	日 野	6人	沖縄 830 せ 16	8.86			21,190	令和3年度防衛調整交付金
17号車	小型動力ポンプ付水槽車	平成27年3月20日	9年	日 野	3人	沖縄 830 そ 17	6.40	シバウラB-2	5,000	12,065	平成26年度防衛調整交付金
18号車	緊 急 人 員 輸 送 車	平成21年11月30日	14年	三 菱	25人	沖縄 830 せ 18	4.89			5,305	平成21年度石油貯蔵施設
23号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成28年1月28日	8年	ト ヨ タ	8人	沖縄 830 た 23	2.69			3,080	平成27年度防衛調整交付金
24号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	令和2年2月13日	4年	い す ゞ	6人	沖縄 800 せ 1032	2.99	森田ポンプA-2	0	4,840	令和元年度消防庁消防団無償貸付車両
予備車	資 機 材 搬 送 車	平成15年3月19日	21年	ト ヨ タ	6人	沖縄 830 ら 119	2.98			3,720	平成14年度石油貯蔵施設
予備車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成22年3月12日	14年	ト ヨ タ	7人	沖縄 830 そ 6	2.69			3,135	平成21年度防衛省
我 如 古 出 張 所											
3号車	指 揮 広 報 車	平成21年3月13日	15年	ニッサン	8人	沖縄 800 た 3	3.49			2,310	平成20年度石油貯蔵施設
7号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成31年3月14日	5年	ト ヨ タ	7人	沖縄 800 な 7	2.69			3,185	平成30年度防衛調整交付金
11号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成20年1月24日	16年	三 菱	6人	沖縄 830 す 11	7.54	森田ポンプA-1	2,000	10,180	平成19年度総務省消防庁
22号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	10年	日 野	5人	沖縄 830 せ 22	4.00	森田ポンプA-2	600	6,375	平成24年度一括交付金
真 志 喜 出 張 所											
8号車	高 規 格 救 急 自 動 車	令和6年1月22日	0年	ト ヨ タ	7人	沖縄 801 に 8	2.69			3,205	令和5年度防衛調整交付金
9号車	資 機 材 搬 送 車	令和4年3月25日	2年	ト ヨ タ	6人	沖縄 830 な 9	4.00			5,510	令和3年度防衛調整交付金
10号車	防 災 活 動 車	平成20年2月22日	16年	マ ツ ダ	6人	沖縄 800 す 1330	1.78			2,585	平成19年度日本消防協会(寄贈)
14号車	水槽付消防ポンプ自動車	令和5年3月20日	1年	日 野	6人	沖縄 830 せ 14	5.12	森田ポンプA-2	4,000	12,130	令和4年度防衛調整交付金
20号車	資 機 材 搬 送 車	平成22年12月27日	13年	三 菱	3人	沖縄 830 さ 20	2.97			3,805	平成22年度石油貯蔵施設
21号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	10年	日 野	5人	沖縄 830 す 21	4.00	森田ポンプA-2	600	6,825	平成24年度一括交付金
25号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成26年3月6日	10年	ト ヨ タ	7人	沖縄 800 の 8	2.69			3,195	平成25年度防衛省
予備車	水槽付消防ポンプ自動車	平成16年2月25日	20年	い す ゞ	6人	沖縄800 る 119	8.22	森田ポンプA-2	4,000	6,825	平成21年度石油貯蔵施設
予備車	予 防 広 報 車	平成19年2月23日	17年	ト ヨ タ	8人	沖縄800 す 444	2.36			2,190	平成18年度石油貯蔵施設
救助艇	水 上 バ イ ク	令和2年11月17日	3年	シードゥ	3人	第296 - 27534号					令和2年度石油貯蔵施設
救助艇	ゴ ム ボ ー ト	令和5年2月27日	1年	アキレス	8人	第296 - 28015号					令和4年度石油貯蔵施設
救助艇	水 上 バ イ ク	平成22年2月18日	14年	シードゥ	3人	第296 - 25284号					単 独

予 防

“次世代へ
つなごう無事故と
青い地球(ほし)”

(令和6年度危険物安全週間推進標語)

火災予防概要

◇危険物製造所等について

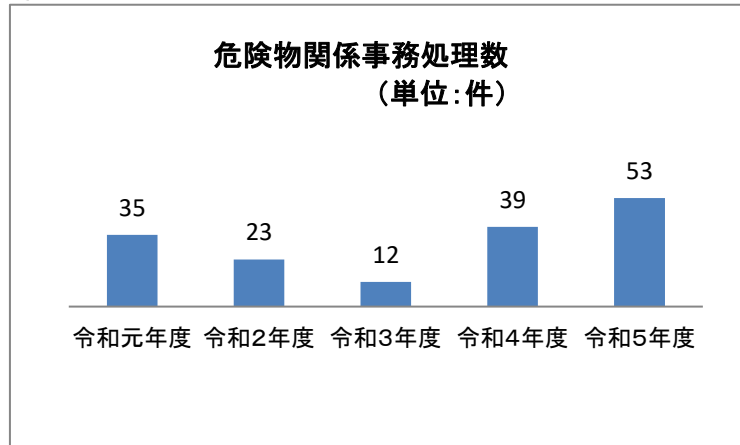
本市における危険物事業所数は、同規模本部と比較して少ない状況にあります。

都市計画法における用途地域指定において、居住系地域が多く、商工業系地域が少ないことに起因するほか、市の面積の3分の1を米軍普天間飛行場が占めていることも関係しているものと考えられます。

令和5年度の事務処理件数は、前年に比べ14件増加し53件となっております。

琉球大学病院関連施設移転に伴う設置数の増加と給油取扱所の設備投資が活発化したことにより、増加したものです。

※危険物施設関係の数値は、米軍基地内については対象外としています。(手数料収入状況除く。)

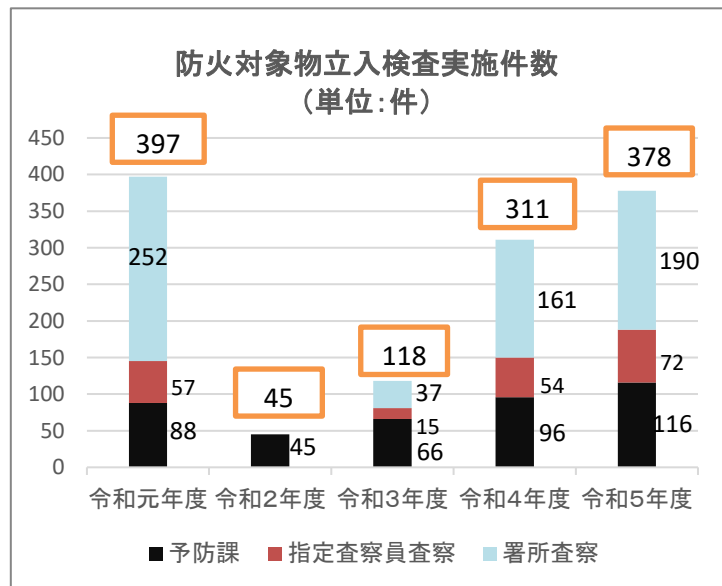


◇防火対象物の実態について

本市における防火対象物数は2,935棟で、今後も増え続けることが予想されます。

防火対象物立入検査の実施件数は378件でした。コロナ感染症が5類に移行となり、制限なく実施できることとなった結果、前年度より67件の増加となりました。

各種届出状況は、「消防用設備等点検結果報告書」が前年度より33件増加しております。これは、立入検査の増加、未届けの建物関係者に対する電話連絡等による指導及び是正通知文書の送付を実施したことが要因と考えられます。



数量別危険物施設の現況

令和6年4月1日現在

区分 数量別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
5倍以下	17					6		7		13				4	4
5倍を超え 10倍以下	10		2			3				5	2			3	5
10倍を超え 50倍以下	12					5				5	1	3		3	7
50倍を超え 100倍以下	3					1		2		3					0
100倍を超え 200倍以下	6									0	6				6
200倍を 超えるもの	10									0	10				10
合計	58	0	2	0	0	15	0	9	0	26	19	3	0	10	32

危険物施設事務処理状況

令和6年4月1日現在

製造所等 区分		合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
許可	設置	3					2		1		3					0
	変更	15							1		1	13			1	14
完成 検査	設置	6					2		2		4				2	2
	変更	12							1		1	9			2	11
仮使用承認		13									0	12			1	13
仮貯蔵取扱承認		0									0					0
完成 検査前 検査	水張・水圧	1				1					1					0
	基礎地盤	0									0					0
施設廃止		4					1		1		2				2	2
合計		54	0	0	0	1	5	0	6	0	12	34	0	0	8	42

危険物関係事務手数料収入状況（令和5年度）

（単位：円）

種 別 月 別	手 数 料							計
	製造所等許可審査		製造所等完成検査		仮使用・取扱	完成検査前検査		
	設置許可	変更許可	設 置	変 更	承 認	水 張	水 圧	
4 月		26,000			5,400			31,400
5 月	52,000	45,500			10,800			108,300
6 月		26,000		13,000				39,000
7 月	65,000	26,000		39,000	5,400	6,000		141,400
8 月	26,000	65,000	13,000	6,500	10,800			121,300
9 月	20,000	26,000		26,000	5,400			77,400
10月		33,000			5,400			38,400
11月		19,500		22,750	5,400			47,650
12月	20,000	104,000	26,000	48,750	21,600			220,350
1 月			45,500	13,000				58,500
2 月								0
3 月	39,000	26,000			5,400			70,400
計	222,000	397,000	84,500	169,000	75,600	6,000	0	954,100

危険物施設数及び事業所数の推移（過去5年）

令和6年4月1日現在

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設数	75	75	75	56	58
事業所数	42	42	42	41	40

※令和4年度から、米軍基地施設内の施設については対象外としています。

少量危険物取扱施設数

令和6年4月1日現在

	少 量 危 険 物 取 扱 施 設
施 設 数	123

各種届出事務処理状況

令和5年度

関 連 条 文	届 出 種 別	件 数
法第8条第2項	防火管理者選任届	136
〃	防火管理者解任届	83
法第17条の3の2	消防用設備等設置届	178
法第17条の3の3	消防用設備等点検結果報告書	1,559
法第17条の14	消防用設備等着工届	102
規則第3条	消防計画	150
条例第43条第1項	防火対象物使用開始届	100
条例第44条第1号～第5号	炉・厨房設備・ボイラー等設置届	17
〃 第9号	変電設備設置届	8
〃 第10号	急速充電設備設置届	1
〃 第12号	発電設備設置届	6
〃 第13号	蓄電池設備設置届	7
条例施行規則第2条1項	裸火等使用承認申請書	33
条例第45条第2号	煙火打ち上げ、仕掛け届	10
〃 第3号	催物開催届	107
条例第46条	少量危険物貯蔵、取扱い届	26
法第13条第2項	危険物保安監督者選任・解任届	6

防火管理資格取得講習会実施状況

年 別	実 施 状 況	講習修了者
平成23年	(財)日本防火協会へ委託	
平成24年	(財)日本防火協会へ委託	
平成25年	乙種:宜野湾市消防本部主催3回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	68(乙種)
平成26年	乙種:宜野湾市消防本部主催2回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	54(乙種)
平成27年	宜野湾市消防本部主催甲種1回、乙種2回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	23(甲種) 37(乙種)
平成28年	宜野湾市消防本部主催乙種3回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	38(乙種)
平成29年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	18(乙種)
平成30年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	39(乙種)
令和元年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	32(乙種)
令和2年	宜野湾市消防本部主催乙種1回	7(乙種)
令和3年	※新型コロナの影響により中止	
令和4年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	21(乙種)
令和5年	宜野湾市消防本部主催甲種2回、乙種1回	46(甲種) 13(乙種)

用途別防火管理者選任（解任）届出状況

令和5年度

用 途 別（項）			選 任	解 任
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	1
	ロ	公会堂、集会場	1	1
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等		
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等（性風俗営業店）		
	ニ	カラオケボックス等	1	1
3	イ	待合、料理店等		
	ロ	飲食店	9	5
4		百貨店、マーケット、店舗	11	8
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	7	7
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	15	8
6	イ	病院、診療所、助産所	5	5
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	4	2
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	8	5
	ニ	幼稚園、特別支援学校		
7		小・中・高・大学等	12	11
8		図書館、博物館、美術館		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		
	ロ	上記以外の公衆浴場		
10		車両停車場、航空機発着場		
11		神社、寺院、教会等		
12	イ	工場、作業場	2	1
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫、駐車場		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫		
15		前各号に該当しない事業所	7	6
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	44	18
	ロ	上記以外の複合用途	7	3
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財、史跡		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市長村長の指定する山林		
20		自治省令で定める舟車		
合 計			136	83

※太文字は特定防火対象物

防火管理者を必要とする防火対象物数

令和6年4月1日現在

用 途 別 (項)			対象物件数		
			甲種	乙種	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2		2
	ロ	公会堂、集会場	19	5	24
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等			0
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール	4		4
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等（性風俗営業店）			0
	ニ	カラオケボックス等	2		2
3	イ	待 合、料 理 店 等			0
	ロ	飲 食 店	23	21	44
4		百 貨 店、マーケット、店 舗	44	15	59
5	イ	旅 館、ホテル、宿 泊 所	15		15
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	169		169
6	イ	病院、診療所、助産所	17	1	18
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	23		23
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	47	8	55
	ニ	幼稚園、特別支援学校	2		2
7		小・中・高・大学等	22		22
8		図書館、博物館、美術館	3		3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			0
	ロ	上記以外の公衆浴場			0
10		車両停車場、航空機発着場			0
11		神 社、寺 院、教 会 等	6		6
12	イ	工 場、作 業 場	5		5
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫、駐車場			0
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫			0
14		倉 庫	4		4
15		前各号に該当しない事業所	42	6	48
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	254	17	271
	ロ	上記以外の複合用途	50	9	59
16の2		地 下 街			0
16の3		準 地 下 街			0
17		重 要 文 化 財、史 跡			0
18		延長50m以上のアーケード			0
19		市長村長の指定する山林			0
20		自治省で定める舟車			0
合 計			753	82	835

※太文字は特定防火対象物

防火対象物別立入検査状況

令和5年度

用途別(項)			月 別	立 入 検 査 数												総対 象 計 物
				合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1												1	3
	ロ	公会堂、集会場	5				1	1							3	28
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等	0													0
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール	6				2		4							6
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等	0													0
	ニ	カラオケボックス等	0													2
3	イ	待 合、料理店等	0													0
	ロ	飲 食 店	10	1		1	2	1		1	2	1			1	54
4		百 貨 店、マーケット、店舗	10						2		2	2	1	3		98
5	イ	旅 館、ホテル、宿 泊 所	8			2	1	3		1					1	35
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	188			16	31	25	30	29	27	20	5	5		1,551
6	イ	病院、診療所、助産所	3		1		1		1							32
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)	22		1	1	1	5	3	2	3		6			26
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)	17		1	1	2	3	2	1	1	2	1	2	1	108
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設	0													10
7		小・中・高・大学等	7				1	1	1		4					71
8		図書館、博物館、美術館	0													3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	0													1
	ロ	上記以外の公衆浴場	0													0
10		車両停車場、航空機発着場	0													0
11		神社、寺院、教会等	0													11
12	イ	工 場、作 業 場	4			2	1				1					32
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0													0
13	イ	自動車車庫、駐車場	4				1		3							19
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0													0
14		倉 庫	1				1									37
15		前各号に該当しない事業所	6				1		1			1	3			173
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	54	1	1	6	8	8	9	5	5	2	3	3	3	414
	ロ	上記以外の複合用途	32			3	2	5	1	3	5	5	5	3		221
16の2		地 下 街	0													0
16の3		準 地 下 街	0													0
17		重要文化財、史跡	0													0
18		延長50m以上のアーケード	0													0
19		市長村長の指定する山林	0													0
20		自治省で定める舟車	0													0
合 計			378	2	4	32	56	52	57	42	50	33	24	16	10	2,935

※対象物は150㎡以上(棟単位)とする。

※太文字は特定防火対象物

建築同意事務処理状況

令和5年度

区 分		月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建築確認	受 付		99	3	13	6	5	7	8	7	8	12	9	7	14
	同 意		89	2	6	12	5	9	6	6	5	13	10	8	7
	条 件 付 同 意		0												
	不 同 意		0												
	返 却		0												
	消 防 通 知		163	6	30	14	6	31	18	11	19	16	4	1	7
計画通知	受 付	国	2								1				1
	了 承	国	1									1			
	受 付	県	1	1											
	了 承	県	1			1									
	受 付	市	4								1		2		1
	了 承	市	3									1	2		
建築同意と計画通知の合計			94	2	6	13	5	9	6	6	5	15	12	8	7

過去5年間の建築同意受付件数

令和5年度

年 度	月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
令和元年		152	20	8	7	15	20	7	3	9	11	29	15	8	13
令和2年		102	5	5	8	6	11	8	13	6	8	14	6	12	9
令和3年		90	11	6	4	8	8	10	5	10	10	5	5	8	8
令和4年		124	11	16	8	16	14	11	5	9	4	16	9	5	10
令和5年		106	4	13	6	5	7	8	7	10	12	11	7	16	9
合 計		574	51	48	33	50	60	44	33	44	45	75	42	49	

月別・用途別建築同意処理状況

令和5年度

用途別(項)		月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			89	2	6	12	5	9	6	6	5	13	10	8	7
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場		0												
	ロ 公会堂、集会場		1									1			
2	イ キャバレー、カフェー、クラブ等		0												
	ロ 遊戯場、ダンスホール		2										2		
	ハ ファッションマッサージ・テレクラ等		0												
	ニ カラオケボックス等		0												
3	イ 待合、料理店等		0												
	ロ 飲食店		3	1			1								1
4	百貨店、マーケット、店舗		0												
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所		0												
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅		40	1	4	6	2	3	3	1	5	5	3	5	2
6	イ 病院、診療所、助産所		4			1						1	1		1
	ロ 老人短期入所施設等「入所施設」		1									1			
	ハ デイサービス・保育園等「入所施設以外」		1									1			
	ニ 幼稚園、特別支援学校		0												
7	小・中・高・大学等		1			1									
8	図書館、博物館、美術館		0												
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等		0												
	ロ 上記以外の公衆浴場		0												
10	車両停車場、航空機発着場		0												
11	神社、寺院、教会等		0												
12	イ 工場、作業場		1					1							
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ		0												
13	イ 自動車車庫、駐車場		0												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫		0												
14	倉 庫		0												
15	前各号に該当しない事業所		7			2		1					2	1	1
16	イ 特定防火対象物のある複合用途		5				1		1	1		1		1	
	ロ 上記以外の複合用途		0												
1602	地 下 街		0												
1603	準 地 下 街		0												
17	重要文化財、史跡		0												
18	延長50m以上のアーケード		0												
19	市長村長の指定する山林		0												
20	自治省で定める舟車		0												
長 屋			21		2	2	1	4	2	3		3	2		2
住 宅			2							1				1	

※太文字は特定防火対象物

用途別消防用設備等設置件数

令和6年4月1日現在

用途別		消防用設備等	消 火 設 備						警 報 設 備				避 難 誘 導 設 備	消 火 活 動 上 必 要 な 設 備			
			屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	二 酸 化 炭 素 消 火 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 ベ ル	非 常 放 送 設 備	ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	誘 導 灯	難 避 器 具	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト
合 計			173	58	3	110	12	2	1,570	363	302		859	912	8	199	31
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1					3	1	1		2			1	
	ロ	公会堂、集会場	4	1	1				22	10	8		25				
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等															
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール	1	1		2			6	6	5		6	1		2	
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等															
	ニ	カラオケボックス等	1						2				2				
3	イ	待 合、料 理 店 等															
	ロ	飲 食 店	2						22	21	13		47	5		3	
4		百貨店、マーケット、店舗	2	6		5	2		51	11	35		89	3		1	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		3		2		1	34	3	3		34	6		7	3
	ロ	寄 宿 舎、下 宿、共同住宅	42	3		43	1		775	129	89		28	650		149	28
6	イ	病院、診療所、助産所	3	5		2			25	8	6		34	4		4	
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)		26		2			27	3	5		27	8		1	
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)				1			67	3	8		91	11			
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設							11	1	1		9				
7		小・中・高・大学等	56			6	3		67	46	46		15	6	2	5	
8		図書館、博物館、美術館	1		1	1			3	1	2		2				
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等								1	1		1				
	ロ	上記以外の公衆浴場															
10		車両停車場、航空機発着場															
11		神 社、寺 院、教 会 等	1						3	4	1		2				
12	イ	工 場、作 業 場	7						17				3	2			
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫、駐車場				15	2		10		1		3			2	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫															
14		倉 庫	8			2			27				7				
15		前各号に該当しない事業所	20			7		1	62	28	15		59	14	4	1	
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	17	12		14	4		264	52	37		310	138	2	17	
	ロ	上記以外の複合用途	7		1	8			72	35	25		63	64		6	
16の2		地 下 街															
16の3		準地下街															
17		重要文化財、史跡															
18		延長50m以上のアーケード															
19		市長村長の指定する山林															
20		自治省で定める舟車															

※太文字は特定防火対象物

中高層建築物用途別棟数状況

令和6年4月1日現在

用途別(項)			階 数	棟 数 合 計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階
合 計				1,240	724	198	130	63	47	20	26	10	8	5	8	1
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		1		1										
	ロ	公会堂、集会場		0												
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等		0												
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール		2				2								
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等		0												
	ニ	カラオケボックス等		0												
3	イ	待 合、料 理 店 等		0												
	ロ	飲 食 店		6	1	2		3								
4		百貨店、マーケット、店舗		6	5	1										
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		15	2	4	2		2	2			1		2	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		896	523	129	94	45	38	15	23	10	7	5	6	1
6	イ	病院、診療所、助産所		7	2	2	2	1								
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)		7	3	3		1								
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)		6	4	2										
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設		0												
7		小・中・高・大学等		24	12	7	4			1						
8		図書館、博物館、美術館		0												
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		0												
	ロ	上記以外の公衆浴場		0												
10		車両停車場、航空機発着場		0												
11		神社、寺院、教会等		0												
12	イ	工 場、作 業 場		1		1										
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		0												
13	イ	自動車車庫、駐車場		6	3	3										
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫		0												
14		倉 庫		0												
15		前各号に該当しない事業所		23	16	3	4									
16	イ	特定防火対象物のある複合用途		135	78	25	15	8	5	2	2					
	ロ	上記以外の複合用途		105	75	15	9	3	2		1					
16の2		地 下 街		0												
16の3		準地下街		0												
17		重要文化財、史跡		0												
18		延長50m以上のアーケード		0												
19		市長村長の指定する山林		0												
20		自治省で定める舟車		0												
住 宅				0												

※太文字は特定防火対象物

予防広報活動状況

区分 月別	市報掲載	ポスター	チラシ	防火指導		ホームページ	（防災無線・街頭報）
	（回）	（枚）	（枚）	回	人	回	（回）
4月		4					
5月	2	3	200			2	5
6月		4				2	28
7月							
8月	1						
9月		25	1,050	3	90	2	38
10月	1						
11月		270	150	3	90	2	26
12月							
1月							
2月	1						
3月	1	245		3	90	2	26
計	6	551	1,400	9	270	10	123

全 国 統 一 防 火 標 語（年度別）

昭和45年度 防火三百六十五日	平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火 守りたい 未来があるから 火の用心	令和6年度
昭和46年度 いま燃えようとしている火がある	平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火	
昭和47年度 慣れた火に 新たな注意	平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火	
昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火	平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで	
昭和49年度 生活の一部にしよう火の点検	平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと	
昭和50年度 幸せを明日につなぐ火の始末	平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに	
昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた	平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ	
昭和52年度 使う火を消すまで離すな目と心	平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて	
昭和53年度 それぞれの持場で生かせ火の用心	平成17年度 あなたです 火のあるくらしの見はり役	
昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う	平成18年度 消さないであなたの心の注意の火	
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも防ぐのも	平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を	
昭和56年度 毎日が防火デーです ぼくの家	平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする	
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心	平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子	
昭和58年度 点検は防火のはじまりしめくくり	平成22年度 「消したかな」あなたを守る合言葉	
昭和59年度 “あとで”より“いま”が大切 火の始末	平成23年度 消したはず 決めつけないで もう一度	
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消したはず」	平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない	
昭和61年度 防火の大役 あなたが主役	平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま	
昭和62年度 消えたかな！ 気になるあの火もう一度	平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ	
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末	平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ	
平成元年度 おとなりに あげる安心 火の始末	平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で	
平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心	平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に	
平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中	平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに火の確認	
平成4年度 点検を重ねて築く”火災ゼロ”	令和元年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心	
平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事	令和2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル	
平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心	令和3年度 おうち時間 家族で点検 火の始末	
平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心	令和4年度 お出かけは マスク戸締り 火の用心	
平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	令和5年度 火を消して 不安を消して つなぐ未来	

火 災

“守りたい
未来があるから
火の用心”

(2024年度全国統一防火標語)

火災統計概要

◇令和5年は火災件数**46件**、前年から**18件増加**！建物火災が倍増！

年間の火災件数は4年連続増加、前年比18件増と例年にない増加となっています。要因は、建物火災が2倍、その他の火災は4倍と増えたことにあります。

その他の火災の増加要因は、嘉数区における放火等の火災が増加したことによります。消防本部としても周辺の警戒パトロールを実施しました。

建物火災においては、こんろ使用の不注意やリチウムイオンバッテリーからの出火が増加しているため、改めて火の取扱いや、リチウムイオンバッテリーの適切な取扱いに注意しましょう。

◇住宅防火の決め手、**住宅用火災警報器**！！

住宅用火災警報器を設置しよう！10年たったら取替えを！

宜野湾市は平成23年に設置義務化となり、義務化後10年以上を経過しました。住宅用火災警報器の電池寿命、機器寿命は概ね10年と言われています。電池切れや機器の故障が発生しやすくなりますので、定期的に点検し、機器に不具合がある場合は速やかに取り換えましょう。取り外したままにしないようご注意ください。

まだ設置されていないご家庭は、大切な財産を守るため、早めの設置をしましょう！

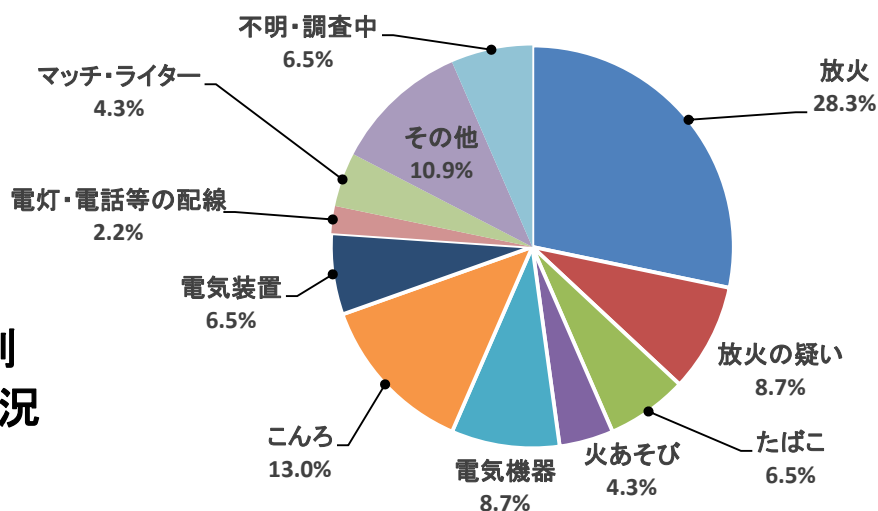
◇出火原因最多は**放火関連**、その他**こんろ**、**電気関係** 火災に注意！

令和5年に発生した火災における出火原因傾向は、「放火」と「放火の疑い」を合わせた放火関連が最多となっています。次いで「こんろ」となり、そのほか「電気機器」、「電気装置」と電気関係の原因が目立ちます。

お家の周囲に燃えやすいものを置かない等放火されにくい環境づくりを心掛けましょう。

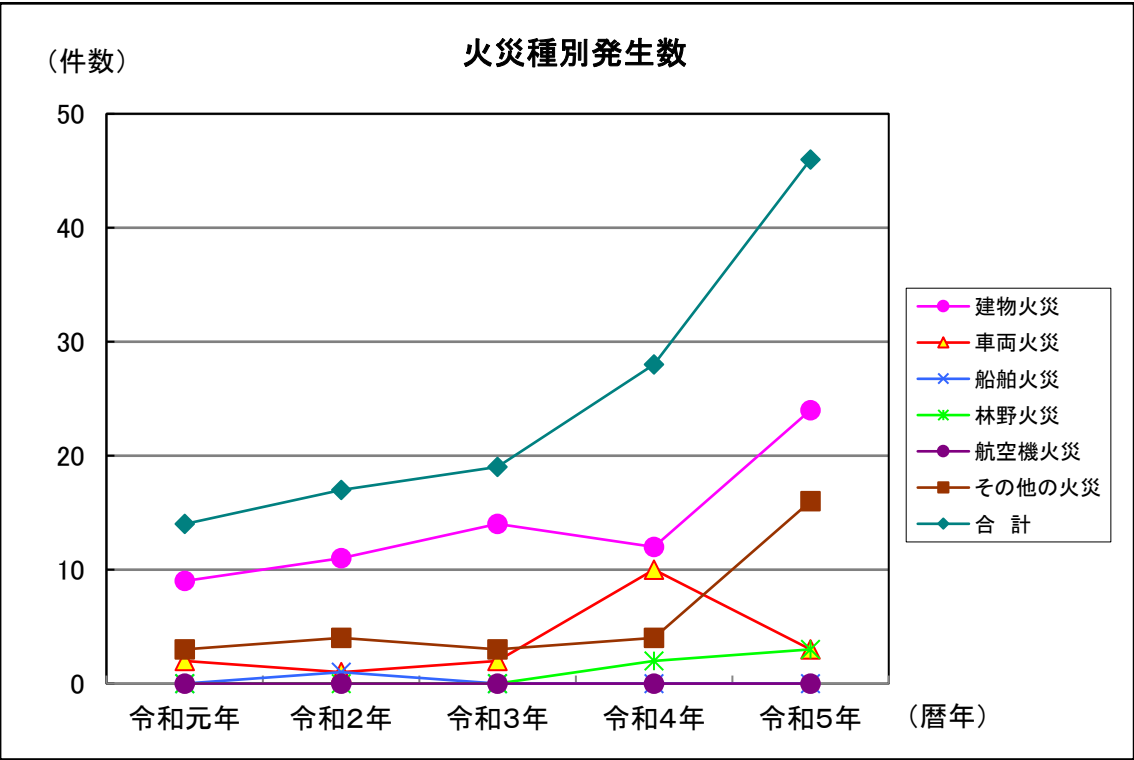
また、こんろが原因の火災が昨年から増えています。火を使用する際は、その場から離れない、燃えやすい物を近くに置かない等の火気管理を行いましょう！

出火原因別
火災発生状況

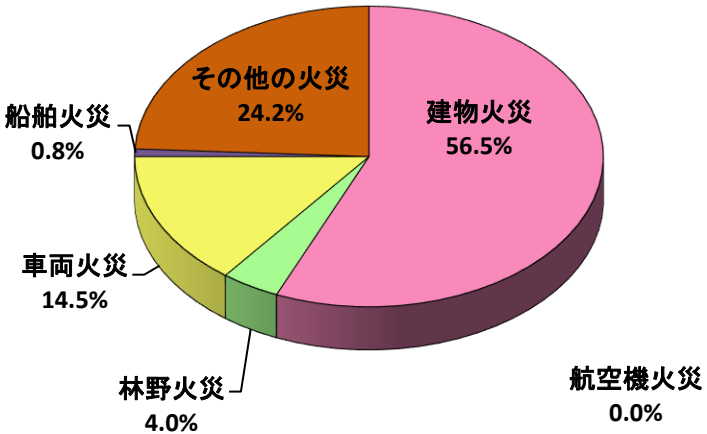


過去5年間の火災種別発生件数・状況

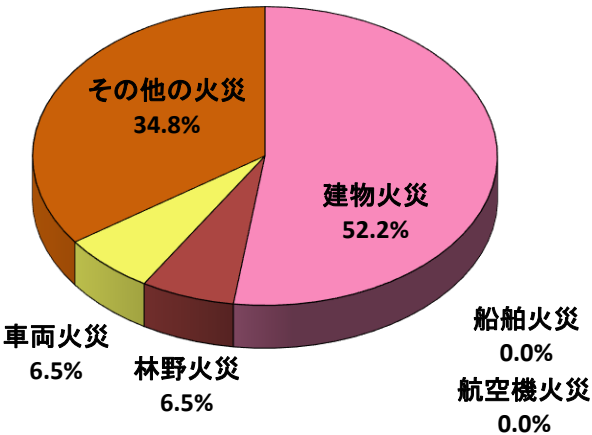
年別 火災種別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合 計
建 物 火 災	9	11	14	12	24	70
林 野 火 災	0	0	0	2	3	5
車 両 火 災	2	1	2	10	3	18
船 舶 火 災	0	1	0	0	0	1
航 空 機 火 災	0	0	0	0	0	0
その他の火災	3	4	3	4	16	30
合 計	14	17	19	28	46	124



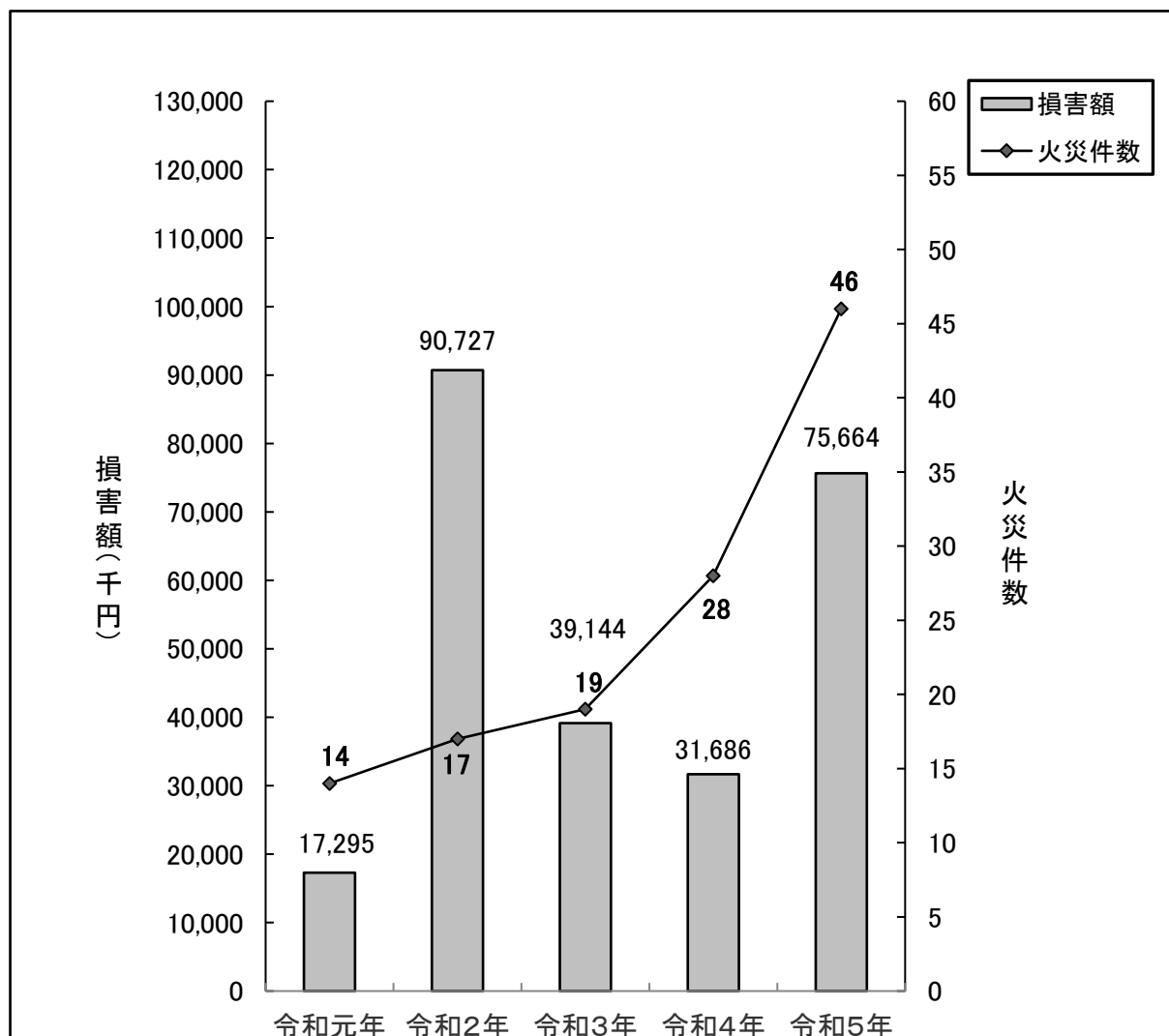
過去5年間の火災種別発生状況



令和5年の火災種別発生状況



過去5年間の火災件数・損害額及び焼損面積



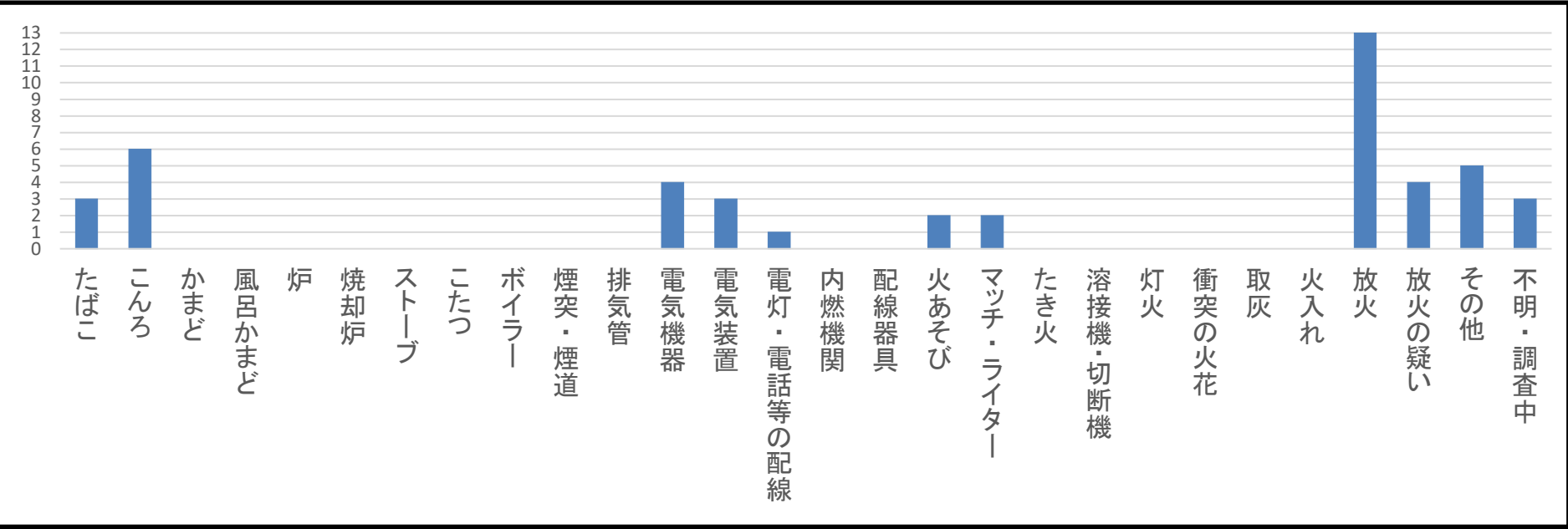
年別		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合 計
件数		14	17	19	28	46	124
火災種別		14	17	19	28	46	124
損害額(千円)	建物火災	16,548	90,145	38,578	30,623	75,484	251,378
	林野火災						0
	車両火災	720		559	1,049	147	2,475
	船舶火災		380				380
	航空火災						0
	その他の火災	27	202	7	14	33	283
	合 計	17,295	90,727	39,144	31,686	75,664	254,516
建物焼損面積(㎡)		128	486	258	213	473	1,558

月別・年次別火災発生状況

令和5年

	出 火 件 数							建 物 火 災												車 両 焼 損 台 数	船 舶 焼 損 隻 数	航 空 焼 損 機 数	死傷者		損 害 額（千 円）								合計		
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空	その他の火災	住 家				非 住 家				罹 災 棟 数	罹災世帯数						罹 災 人 員 （ m ² 延べ焼損面積）	死 者	傷 者	屋 内			屋 外						
								全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や		全 損	半 損	小 損							建物	収容物 その他	計	林野	車両	船舶	航空		その 他 の火災	
令和元年	14	9	0	2	0	0	3	0	1	5	4	0	0	1	0	11	1	3	8	19	128	2	0	0	0	1	15,918	630	16,548	0	720	0	0	27	17,295
令和2年	17	11	0	1	1	0	4	3	1	6	3	2	0	0	1	16	4	0	8	22	486	4	1	0	1	0	78,600	11,514	90,114	0	31	380	0	202	90,727
令和3年	19	14	0	2	0	0	3	0	1	3	6	2	1	0	2	15	3	1	7	19	258	2	0	0	0	0	33,508	5,070	38,578	0	559	0	0	7	39,144
令和4年	28	12	2	10	0	0	4	0	1	4	5	0	0	1	2	15	2	2	10	37	213	13	0	0	0	3	27,468	3,155	30,623	0	1,049	0	0	14	31,686
令和5年	46	24	3	3	0	0	16	0	2	2	10	1	1	0	8	26	1	3	9	25	473	3	0	0	0	7	72,942	2,542	75,484	0	147	0	0	33	75,664
1 月	3	1		1			1							1	1							1						16	16		103				119
2 月	1	1											1		1					116						45,613		45,613						45,613	
3 月	1	1									1				1																				0
4 月	3	2					1				2				2				2	8								45	45					3	48
5 月	5	2	1				2							2	2																				0
6 月	2	1					1				1				1				1	1					1	33		33						29	62
7 月	2		1				1																												0
8 月	3	2		1							1				1	2			1	1		1					7	7		12				19	
9 月	11	6					5		2	1	3	1				8	1	2	2	10	298				4		24,934	1,930	26,864					1	26,865
10 月	5	3					2				1				1	3			2	3				1		165	105	270						270	
11 月	8	3	1	1			3			1	1				1	3		1	1	2	59	1			1		2,197	254	2,451		32				2,483
12 月	2	2												2	2													185	185						185

令和5年の出火原因別火災発生件数



近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例

発生年	覚知方法	出火箇所	原因	火災非火災	焼損面積	損害額	死傷者		概要
					(m ²)	(千円)	死	傷	
令和2年	119番	台所	こんろ	非火災	なし	計上なし	なし	なし	こんろで鍋に火をかけたまま放置、別の部屋にいた同居人が住宅用火災警報器の鳴動音で鍋から煙が出ていることに気づき、こんろの火を消す。
令和4年	119番	居室	放火	火災	3.17	341	なし	なし	放火による火災。通報者は住宅用火災警報器の警報音を確認し通報に至る。
令和5年	119番	居室	たばこ	火災	0.1	25	なし	なし	くわえたばこした際に落ちた火種の一部が洋服に落ち、住人が外出後に出火。その後、隣人が外出しようと玄関先に出た際、住宅用火災警報器の鳴動音と異臭に気づき、火災を発見して119番通報したため、被害を最小限に抑えられた。

月別・用途別出火件数

令和5年

月別 用途別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建 物	住 宅			1	1					1				3
	遊 技 場													0
	飲 食 店													0
	物 品 販 売 店													0
	共 同 住 宅				1		1		1	2	1	2		8
	福 祉 施 設					1			1					2
	事 務 所 等											1	1	2
	複合用途建築物	1	1			1				2	1			6
	その他の用途									1	1		1	3
	車 両	1							1			1		3
船 舶														0
航 空 機														0
林野/その他の火災		1			1	3	1	2		5	2	4		19
計		3	1	1	3	5	2	2	3	11	5	8	2	46

覚知別火災出動件数

令和5年

月別 用途別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
専用電話(固定)										1				1
専用電話(携帯)		3	1	1	1	3		2	3	6	1	5		26
加入電話										1	1	1		3
駆け付け														0
事後聞知					2	2	2			3	3	2	2	16
そ の 他														0
計		3	1	1	3	5	2	2	3	11	5	8	2	46

曜日別火災発生件数

令和5年

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
件 数	8	9	6	10	4	2	6	1	46

月別・時間別火災発生状況

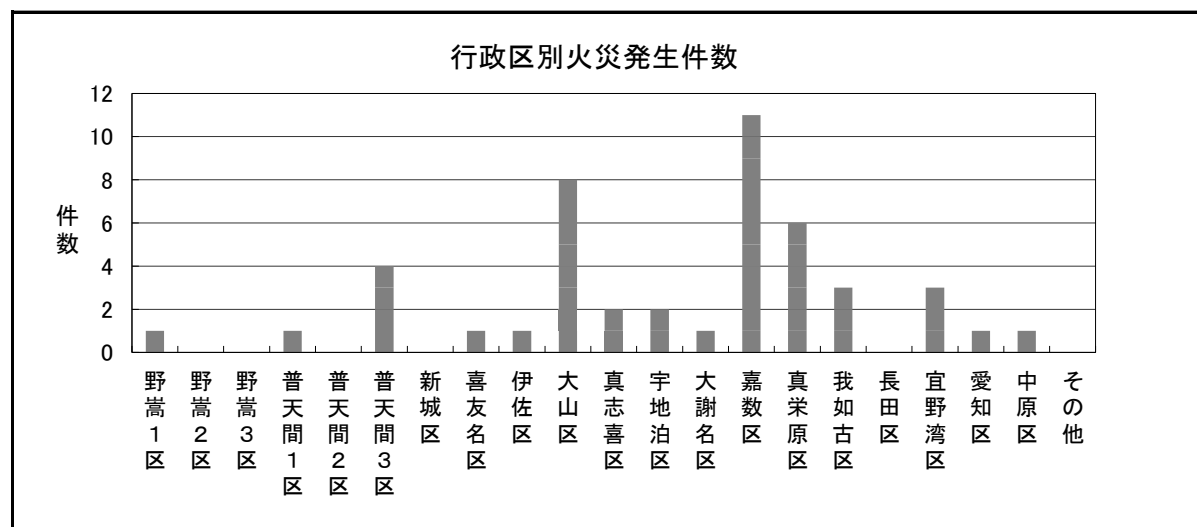
令和5年

月別 \ 時間別	0 1	1 2	2 3	3 4	4 5	5 6	6 7	7 8	8 9	9 10	10 11	11 12	12 13	13 14	14 15	15 16	16 17	17 18	18 19	19 20	20 21	21 22	22 23	23 0	不 明	計
1月								1		1						1										3
2月																				1						1
3月																		1								1
4月														2						1						3
5月						1				1							1					1	1			5
6月																		1							1	2
7月								1															1			2
8月										1								1		1						3
9月		1							1			1	1				1	1	1	1				1	2	11
10月						1						1			1		1	1								5
11月		1				1					2			1				1	1			1				8
12月																1									1	2
計	0	2	0	0	0	3	0	1	2	2	3	2	1	1	3	1	3	5	4	2	2	2	2	1	4	46

行政区別・月別火災発生状況

令和5年

行政区別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
野 嵩 1 区										1			1
野 嵩 2 区													0
野 嵩 3 区													0
普天間1区						1							1
普天間2区													0
普天間3区									2	1	1		4
新 城 区													0
喜 友 名 区											1		1
伊 佐 区					1								1
大 山 区	1	1					1	1	1	1	2		8
真 志 喜 区			1	1									2
宇 地 泊 区				1							1		2
大 謝 名 区											1		1
嘉 数 区	1				3		1		4	1		1	11
真 栄 原 区				1	1			1	1	1	1		6
我 如 古 区									1		1	1	3
長 田 区													0
宜 野 湾 区								1	2				3
愛 知 区						1							1
中 原 区	1												1
そ の 他													0
計	3	1	1	3	5	2	2	3	11	5	8	2	46



救 急

救急車を
上手に使い
ましょう。



救急統計概要

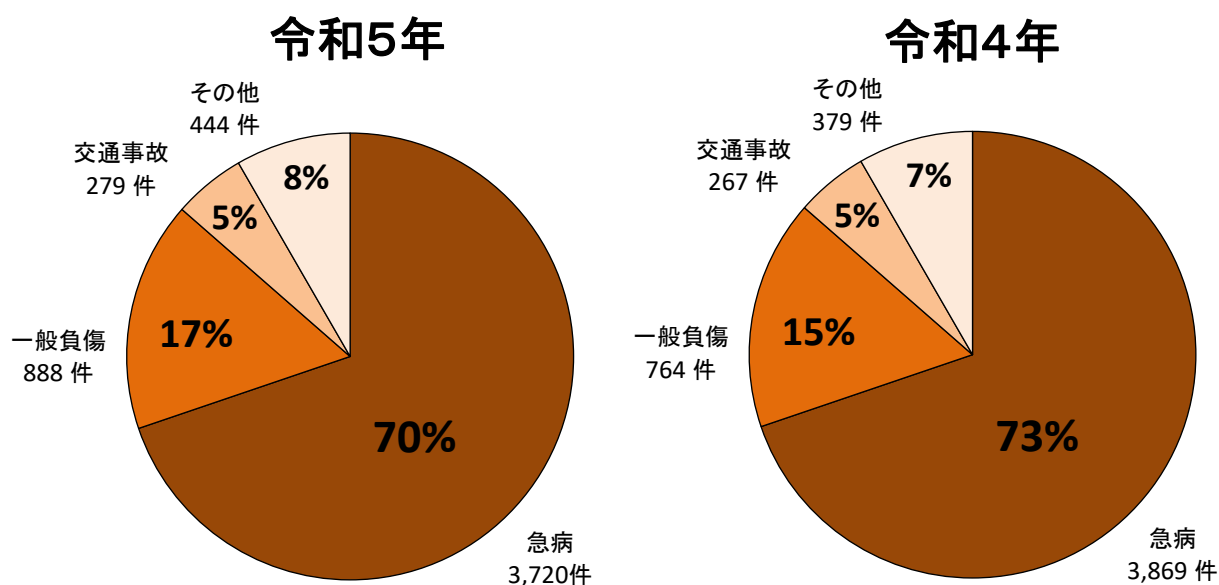
1. 救急出動件数が 5,000件 超え

令和5年中の救急件数は5,331件で、前年(5,279件)より52件増加しました。2年連続で救急件数が5,000件を超える結果となりました。
1日あたりでみると、14件を超える出動となります。

	出動件数	1日あたりの件数	現場到着 平均所要時間
令和5年	5,331	14.6	7分18秒
令和4年	5,279	14.46	7分36秒
令和3年	4,440	12.16	7分42秒
令和2年	4,039	11.04	7分
令和元年	4,565	12.51	6分48秒

2. 事故種別ごとの救急出動件数 1位は「急病」

令和5年中の事故種別ごと救急件数は、1位は「急病」で3,720件です。次いで、「一般負傷」888件、「交通事故」279件となっています。



3. 救急搬送者全体における高齢者の割合は「5割」以上

令和5年中の宜野湾市の救急搬送者総数4,719人の内、高齢者は2,519人で救急搬送者の5割以上と高い割合を示しています。

4. 救急搬送者全体における軽症者の割合は「約6割」！！

令和5年中の宜野湾市の救急搬送者総数は4,719人で、前年より77人増加しました。その内、軽症者は2,787人で救急搬送者の約6割と高い割合を示しています。

5. 本市救急出動における現場到着平均所要時間は「7分18秒」

令和5年中の救急件数5,331件の現場到着までにかかる平均時間は「7分18秒」です。

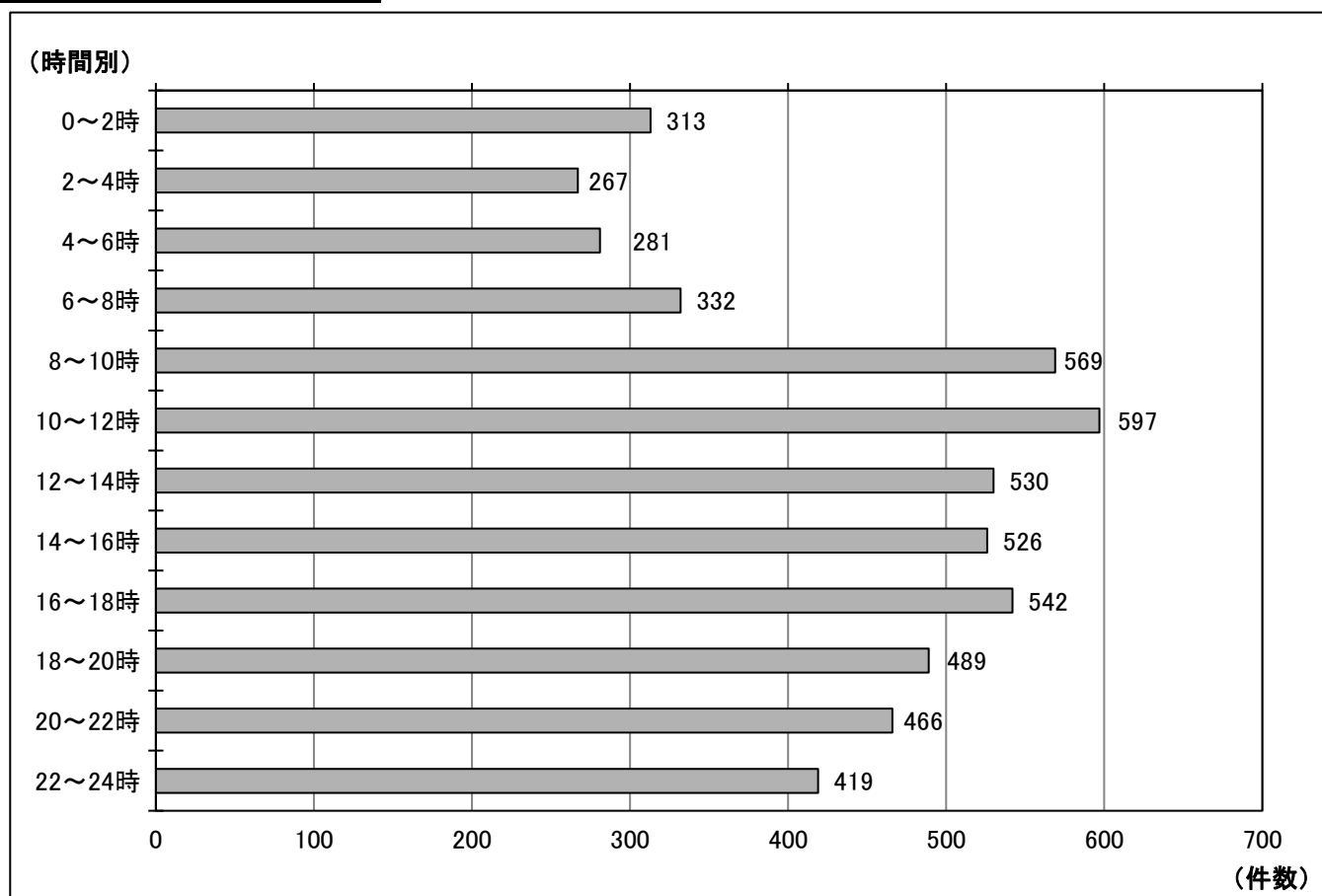
救急車は市民の財産です。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

事故種別・時間別救急出動件数

令和5年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別 内 訳	0～2時	1			14			58	1	6	224	9	313
	2～4時				10			58	3	5	186	5	267
	4～6時			1	8			42		2	221	7	281
	6～8時				20			51	1	4	249	7	332
	8～10時	2	1		25	8	2	83		2	421	25	569
	10～12時	2		1	25	6	5	96		6	402	54	597
	12～14時	1		1	24	4	3	90	1	1	353	52	530
	14～16時		1		30	8	2	84	4	5	356	36	526
	16～18時	2			39	6	6	85	3	4	350	47	542
	18～20時		1	1	46	4	2	84	4	6	329	12	489
	20～22時	2	1		26	2	2	80	3	3	328	19	466
	22～24時	3	1		12	3		77	6	4	301	12	419
計		13	5	4	279	41	22	888	26	48	3,720	285	5,331

時間別救急出動件数

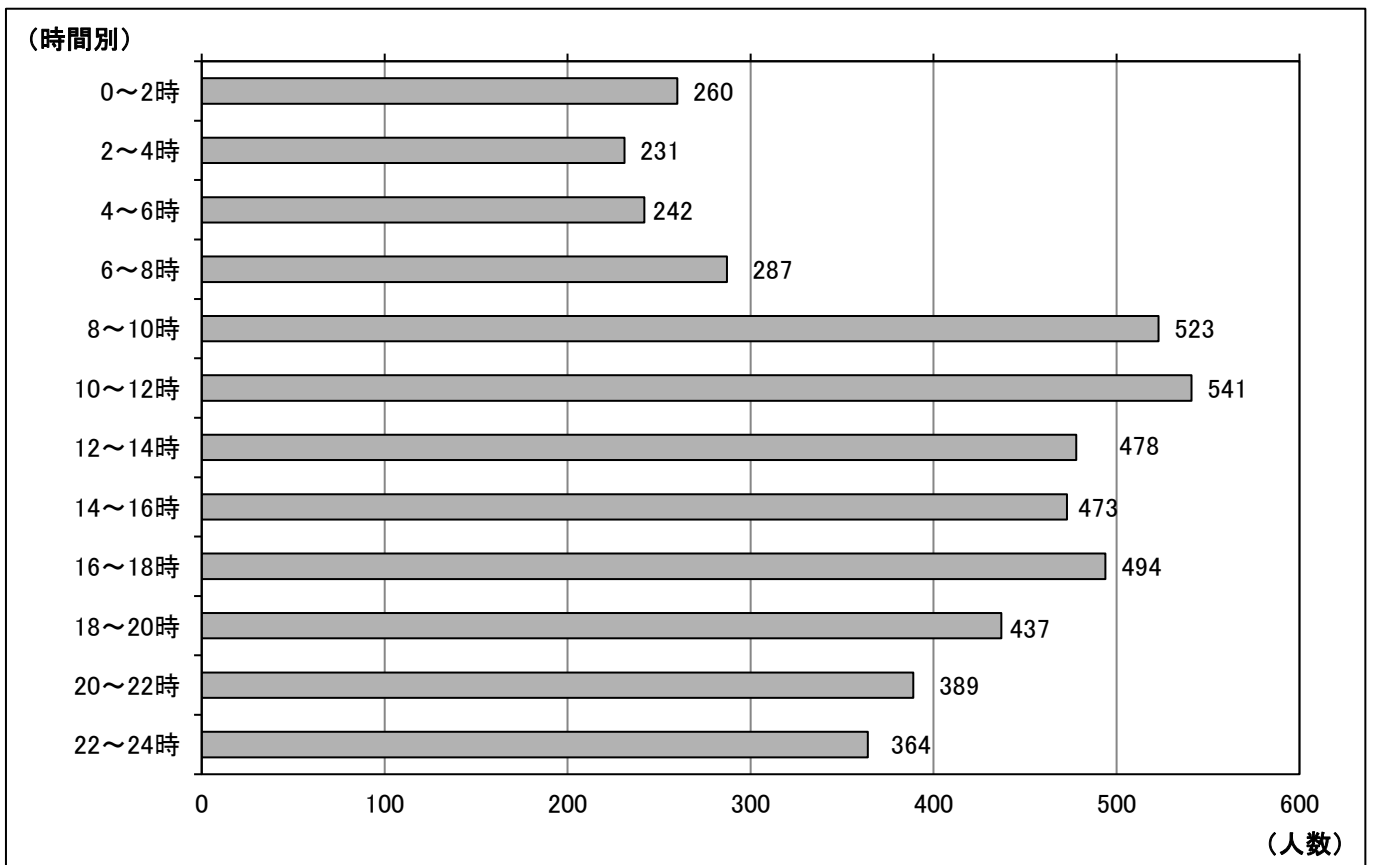


事故種別・時間別救急搬送人員

令和5年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別 内訳	0～2時				14			49	1	4	192		260
	2～4時				11			53	1	3	163		231
	4～6時			1	6			38		1	194	2	242
	6～8時				18			47	1	2	219		287
	8～10時		1		22	8	2	77		1	397	15	523
	10～12時	1		1	28	6	5	88		5	364	43	541
	12～14時				23	4	3	79	1	1	326	41	478
	14～16時		1		25	8	2	74	3	5	326	29	473
	16～18時				34	7	6	79	2	2	326	38	494
	18～20時		1	1	47	4	2	78	2	4	295	3	437
	20～22時				21	2	2	65	3	2	287	7	389
	22～24時	3	1		11	3		68	5	4	268	1	364
計		4	4	3	260	42	22	795	19	34	3,357	179	4,719

時間別救急搬送人員

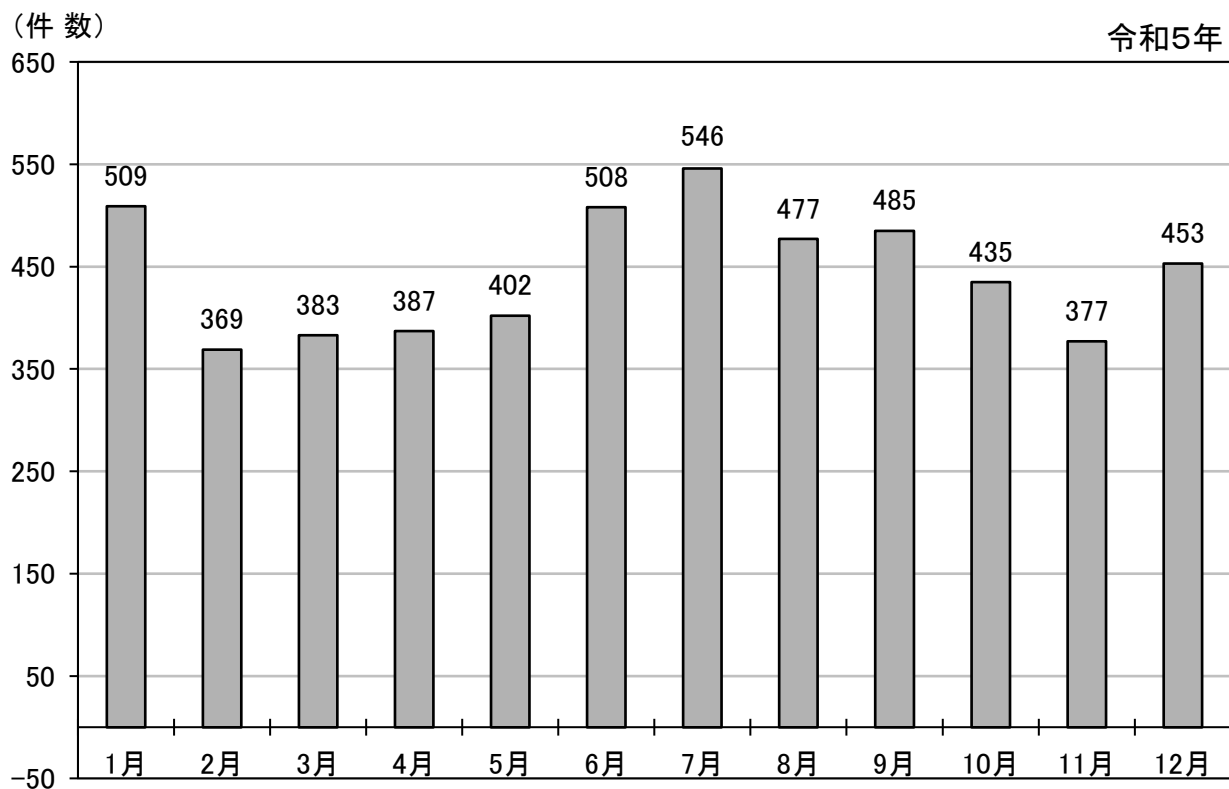


事故種別年令区別傷病程度別搬送人員

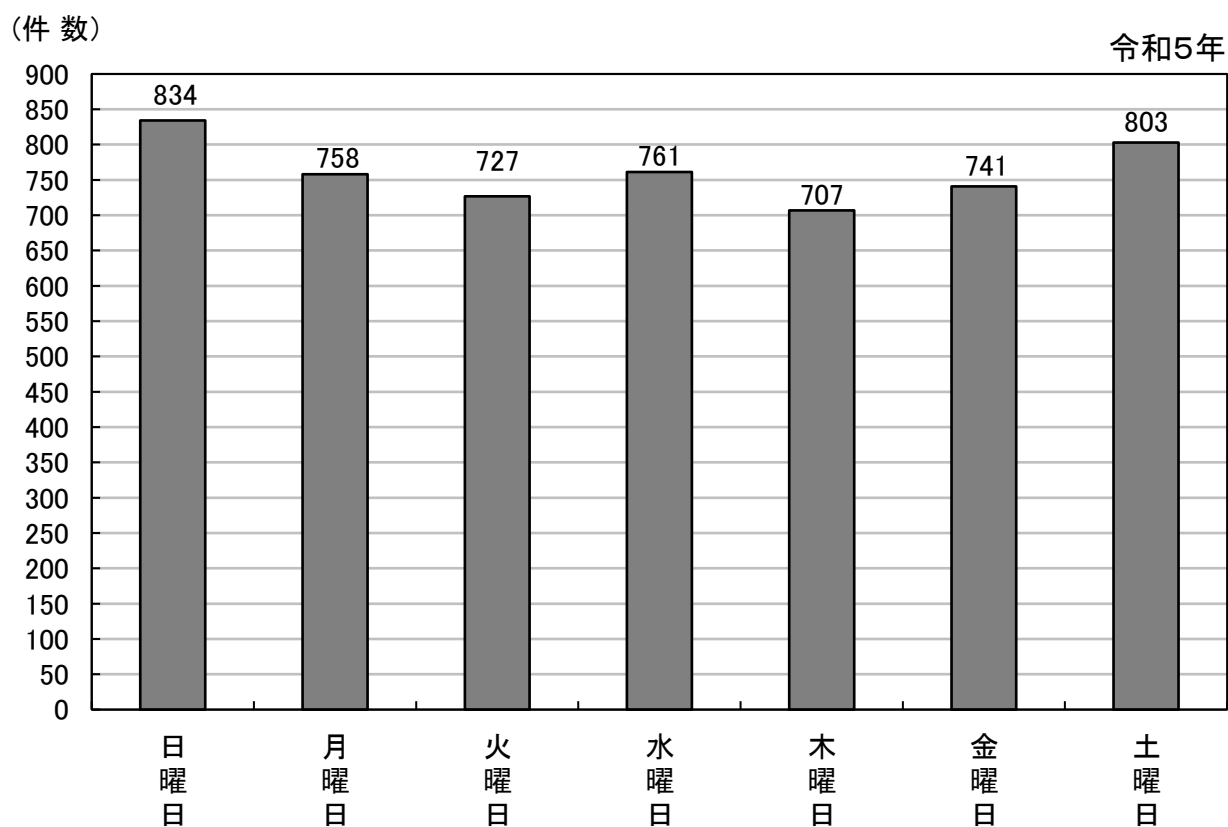
令和 5 年

年令 区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死 亡										1		1
	重 症												0
	中等症										2	1	3
	軽 症							1			2		3
	その他												0
	計	0	0	0	0			1	0		5	1	7
乳幼児	死 亡												0
	重 症							1			1		2
	中等症				2			1			28	1	32
	軽 症				3			35			223		261
	その他												0
	計	0	0	0	5		0	37	0	0	252	1	295
少年	死 亡							1					1
	重 症							1		2	1		4
	中等症				8		4	2			12	1	27
	軽 症				40		10	44	1	1	103	1	200
	その他												0
	計	0	0	0	48	0	14	48	1	3	116	2	232
成人	死 亡				1			1		2	8		12
	重 症				6	2	1	7			69	10	95
	中等症	1		1	20	8	1	25		12	259	42	369
	軽 症	1	3	1	146	29	6	170	14	14	798	8	1,190
	その他												0
	計	2	3	2	173	39	8	203	14	28	1,134	60	1,666
高齢者	死 亡							3			47		50
	重 症				3	1		81			316	30	431
	中等症	1		1	7			141	1	2	677	74	904
	軽 症	1	1		24	2		281	3	1	809	11	1,133
	その他										1		1
	計	2	1	1	34	3	0	506	4	3	1,850	115	2,519
合 計	死 亡				1			5		2	56		64
	重 症				9	3	1	90		2	387	40	532
	中等症	2		2	37	8	5	169	1	14	978	119	1,335
	軽 症	2	4	1	213	31	16	531	18	16	1,935	20	2,787
	その他										1		1
	計	4	4	3	260	42	22	795	19	34	3,357	179	4,719

月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



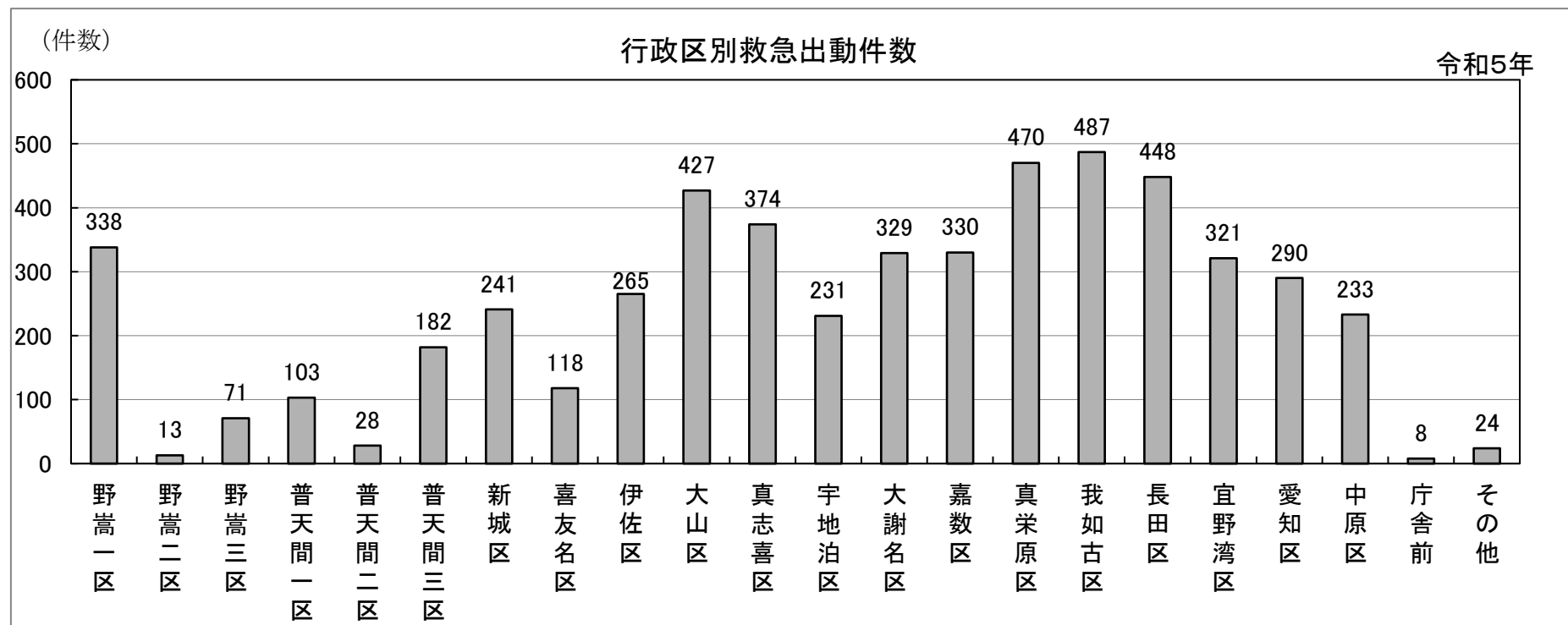
行政区別救急出動件数

令和5年

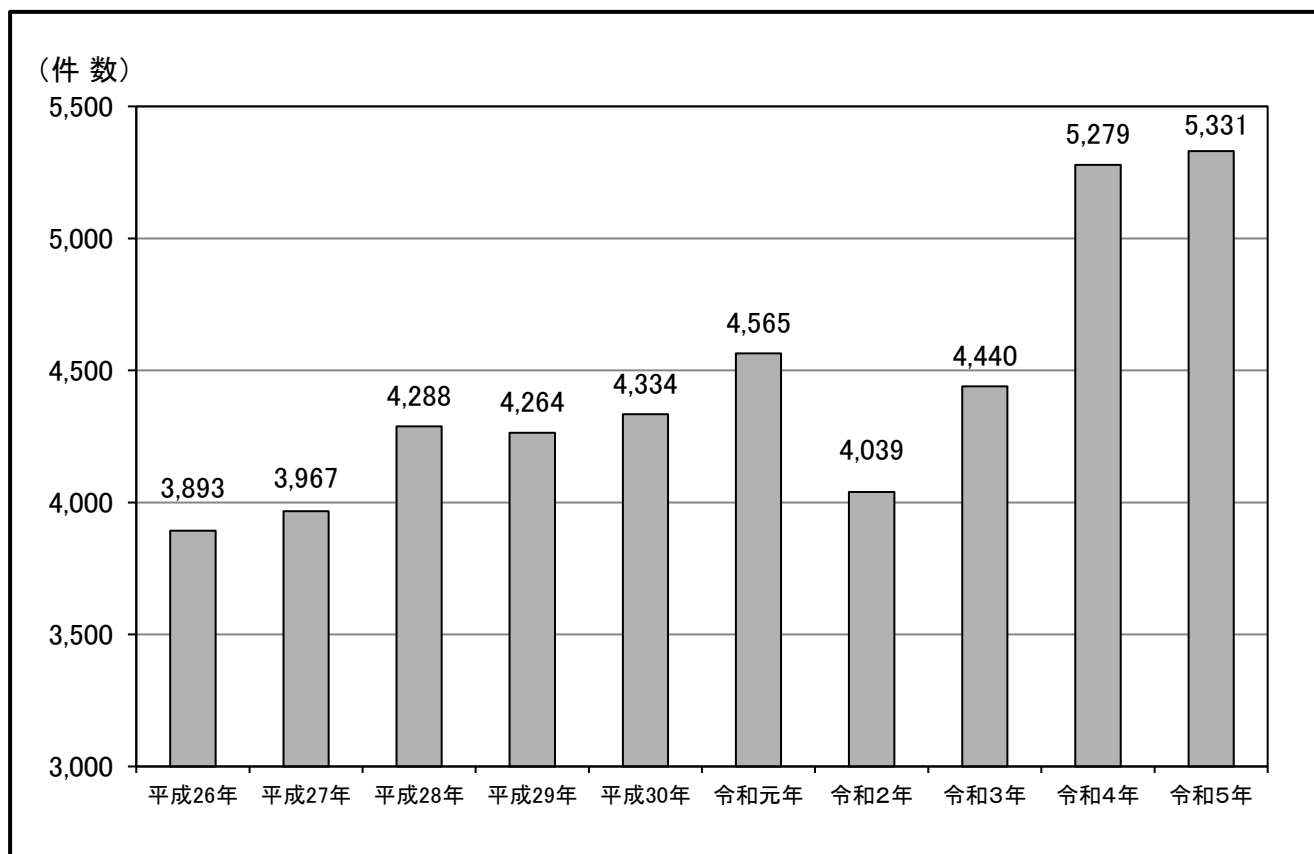
行政区名	野嵩一区	野嵩二区	野嵩三区	普天間一区	普天間二区	普天間三区	新城区	喜友名区	伊佐区	大山区	真志喜区
救急出動件数	338	13	71	103	28	182	241	118	265	427	374

行政区名	宇地泊区	大謝名区	嘉数区	真栄原区	我如古区	長田区	宜野湾区	愛知区	中原区	庁舎前	その他
救急出動件数	231	329	330	470	487	448	321	290	233	8	24

その他：他市町村及び軍施設内



過去10年間の救急出動件数



過去10年間の事故種別救急出動件数

種 別 年 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他	計
平 成 26 年	8	7	5	373	19	36	601	21	43	2,499	281	3,893
平 成 27 年	15	1	6	358	20	54	593	37	38	2,573	272	3,967
平 成 28 年	13	0	7	385	36	42	650	38	46	2,802	269	4,288
平 成 29 年	9	3	6	301	27	27	642	23	48	2,903	275	4,264
平 成 30 年	11	9	3	321	20	46	710	39	39	2,875	261	4,334
令 和 元 年	5	2	2	305	29	38	705	33	35	3,131	280	4,565
令 和 2 年	7	2	4	234	20	27	642	32	35	2,826	210	4,039
令 和 3 年	10	2	5	249	22	26	693	21	57	3,131	224	4,440
令 和 4 年	11	1	3	267	27	19	764	40	49	3,869	229	5,279
令 和 5 年	13	5	4	279	41	22	888	26	48	3,720	285	5,331

署所別救急出動件数

	消防署	我如古出張所	真志喜出張所	令和5年 合計
出動件数	2,192	1,774	1,365	5,331
搬送人員	1,921	1,570	1,228	4,719
ドクターカー出動件数	46	66	36	148

救急隊員が行った応急処置件数（令和５年）

表1

事故種別	応急処置 対象 人員	止 血	固 定	人工 呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気 道 確 保				保 温	被覆	
						うち自動		うち自動			* 1	* 2	* 3			* 4
急病	3,356	8	37	6			61	38	567	72	3		14	1	129	7
交通	260	7	185				1	1	10	1					9	22
一般負傷	795	74	188				6	2	30	8		2	1		20	127
その他	307	14	28				2	1	74	2					13	21
計	4,718	103	438	6	0	0	70	42	681	83	3	2	15	1	171	177

*1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保 *2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
*3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリngeアルマスク等を使用しての気道確保
*4 気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置

表2

事故種別	応急処置	在宅療法継続			ショックパ ンツによる 血圧保持	除細動	静脈路確保		薬剤投与	その他の 応急 処置	血圧 測定	聴診器に よる心音・ 呼吸音の 聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	血糖測定	エピペン 投与	ブドウ糖 投与	合計		
		* A	* B	* C			うち CPA前	うち CPA後												
急病		193	2	38	165		7	25	11	14	9	2,265	3,169	1,102	3,300	1,666	63		4	12,690
交通												195	253	108	257	38				1,086
一般負傷		21			3	18		1	2		2	553	767	151	788	138	8			2,884
その他		16	3	2	13							206	302	67	305	98	1			1,149
計		230	5	43	196	0	8	27	11	16	11	3,219	4,491	1,428	4,650	1,940	72	0	4	17,809

*A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
*B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
*C *A、*B以外の処置が施されているもの

救助・その他出動

救 助 統 計 概 要

1. 令和5年中の救助出動件数は **37件** 前年比は **2件 増加**

	出動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和5年	37	2	4	2	1	2	15			11
令和4年	35	3	2	1		2	16			11
前年比	2	-1	2	1	1	0	-1			0

令和5年中の救助出動の件数は37件で、前年と比較すると2件の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で15件、次いで「その他事故」で11件となっています。

2. 令和5年中の救助活動件数は **32件** 前年比は **4件 増加**

	活動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和5年	32	2	4	1		2	15			8
令和4年	28	3	2	1		2	12			8
前年比	4	-1	2	0		0	3			0

令和5年中の救助活動の件数は32件で、前年と比較すると4件の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で15件となっており、次いで「その他事故」で8件となっています。

3. 令和5年中の救助人員は **39人** 前年比は **10人 増加**

	救助人員 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和5年	39	2	4	1		5	19			8
令和4年	29	3	2	1		2	12			9
前年比	10	-1	2	0		3	7			-1

令和5年中の救助人員は39人で、前年と比較すると10人の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で19人となっており、次いで「その他事故」の8人となっています。

災害別・月別出動件数

令和5年

月別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
緊急確認	件数	1	2	4	8	7	2	3	18	3	4	12	12	76
	人員	7	5	14	39	23	13	9	56	10	13	42	46	277
	車両	3	2	6	14	9	5	3	20	3	5	17	17	104
救助出動	件数	5	0	3	2	5	0	2	2	8	4	3	3	37
	人員	30	0	27	10	38	0	12	14	74	23	34	17	279
	車両	11	0	11	4	12	0	4	5	30	9	11	6	103
風水害出動	件数	0	0	0	0	0	7	0	249	0	0	0	0	256
	人員	0	0	0	0	0	23	0	780	0	0	0	0	803
	車両	0	0	0	0	0	7	0	253	0	0	0	0	260
ガス漏れ こんろ油鍋	件数	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	2	7
	人員	0	0	0	3	0	0	20	2	0	0	3	15	43
	車両	0	0	0	1	0	0	7	1	0	0	1	5	15
油流出事故	件数	2	0	1	3	2	1	3	0	1	4	0	1	18
	人員	5	0	3	9	5	3	6	0	3	13	0	3	50
	車両	2	0	1	3	2	1	3	0	1	4	0	1	18
ハブ・ハチ 動物出動	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	人員	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	車両	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
自動火災報知 設備誤報	件数	14	10	11	21	19	27	18	66	7	11	11	19	234
	人員	38	26	36	67	66	72	45	173	16	32	32	59	662
	車両	14	10	13	22	25	27	18	67	7	13	11	22	249
たき火	件数	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	3	1	8
	人員	0	0	0	3	0	3	11	0	0	2	9	2	30
	車両	0	0	0	1	0	1	4	0	0	1	3	1	11
救急支援活動	件数	72	46	52	38	47	66	82	42	56	72	53	59	685
	人員	200	128	139	114	136	169	219	106	146	192	135	159	1,843
	車両	73	47	52	39	48	66	82	42	56	72	53	59	689
その他出動	件数	4	0	1	1	1	0	2	3	3	1	1	3	20
	人員	10	0	2	2	3	0	4	8	8	2	2	7	48
	車両	4	0	1	1	1	0	2	3	4	1	1	3	21
合計	件数	98	58	72	75	81	104	113	382	78	97	84	100	1,342
	人員	290	159	221	247	271	283	326	1,142	257	277	257	308	4,038
	車両	107	59	84	85	97	107	123	392	101	105	97	114	1,471

行政区別出動件数

令和5年

行政区別	種 別	緊急 確認	救助 出動	風水害 出動	こんろ 油鍋 ガス漏れ	油流出 事故	ハブ・ハチ 動物出動	自動火災 報知設備 誤報	たき火	救急支援 活動	その他	計
野 嵩 1 区		5	2	41	1	1	0	10	0	38	0	98
野 嵩 2 区		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
野 嵩 3 区		0	0	4	0	0	0	0	0	11	0	15
普 天 間 1 区		2	1	12	0	0	0	6	0	14	1	36
普 天 間 2 区		1	0	2	0	0	0	1	0	3	0	7
普 天 間 3 区		2	4	7	1	1	0	14	0	25	1	55
新 城 区		5	2	9	0	1	0	9	0	30	0	56
喜 友 名 区		1	1	4	0	0	0	7	0	18	0	31
伊 佐 区		4	1	11	1	4	0	20	1	30	3	75
大 山 区		12	2	14	1	1	1	22	3	57	4	117
真 志 喜 区		7	4	19	1	0	0	18	0	52	1	102
宇 地 泊 区		3	3	7	0	2	0	9	0	35	1	60
大 謝 名 区		6	4	15	0	1	0	18	1	50	0	95
嘉 数 区		2	1	7	0	0	0	8	0	46	1	65
真 栄 原 区		5	2	11	0	1	0	12	1	58	4	94
我 如 古 区		2	2	17	2	1	0	36	0	68	0	128
長 田 区		3	4	23	0	2	0	13	0	54	1	100
宜 野 湾 区		4	2	12	0	1	0	18	2	30	1	70
愛 知 区		3	1	18	0	0	0	6	0	34	1	63
中 原 区		9	1	20	0	2	0	7	0	31	1	71
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計		76	37	256	7	18	1	234	8	685	20	1,342



その他

令和5年消防関係主要行事

月 日	行 事 名
1月6日	令和5年宜野湾市消防出初式
2月14日	中部地区消防総合訓練
3月1日～7日	春季全国火災予防運動
3月3日	沖縄県消防長会消防合同訓練
4月10日	沖縄県消防長会春季総会(那覇市)
5月26日～6月7日	九州一斉住宅用火災報知器普及啓発キャンペーン
5月26日	沖縄県救助技術指導会(中城村:県消防学校)
6月4日～10日	危険物安全週間
6月8日～9日	中部消防長会水難救助訓練(宜野湾市)
9月1日～21日	住宅防火防災キャンペーン
9月3日～9日	救急医療週間
9月5日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練(宜野湾市)
9月29日	沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会(中城村:県消防学校)
10月26日	第32回沖縄県消防人のつどい(宮古島市)
11月2日	沖縄県消防団操法大会(中城村:県消防学校)
11月9日～15日	秋季全国火災予防運動
11月15日	沖縄県消防長会秋季役員会・総会(恩納村)
11月21日	全国消防長会九州支部秋季総会・消防長研修会(鹿児島県)
11月25日～26日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(福岡県)
12月2日	救急消防フェア
12月3日	宜野湾市地震・津波避難訓練

令和5年消防訓練関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
各部訓練	3			3	3	3	3		3	3	3	3	27
救助訓練	3		7	12	10		3		2	3	3	2	45
水難救助訓練	3		7	12	9	2	3	1	6	6	6	3	58
総合訓練		1	1						1		1	1	5
合計	9	1	15	27	22	5	9	1	12	12	13	9	135

令和5年救命講習関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
上級救命講習									1				1
									21				21
応急手当 普及員講習									1				1
									13				13
普通救命講習	3	6	6	8	7	14	14	6	7	12	8	7	98
	37	86	80	109	77	196	190	56	96	132	75	91	1,225
救命入門コース	3	3	2	2	3	2	2	9	1	5	1	6	39
	53	81	31	90	110	52	45	454	17	333	22	123	1,411
防災教育								1			1	3	5
								35			9	103	147

延回数 144 回 延人数 2,817 人

救命講習・防災教育は、無料で受講することができます。
申込みについては、消防署へお問い合わせください。
救命講習(毎月第二週火曜開催)

令和5年庁舎見学

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
園児	1	2	1				3		4	2	6	2	21
	25	26	16				175		67	129	242	70	750
小学生		1	1					6	1	2	2		13
		10	30					180	128	173	302		823
その他 (専門学校)													0
													0

延回数 34 回 延人数 1,573 人

令和5年職場体験学習

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
中学生											1		1
											9		9
高校生												1	1
												4	4
その他 (専門学校)													0
													0

延回数 2 回 延人数 13 人

宜野湾市消防本部では、園児や学生の防災への関心を高めるため、積極的に受け入れを行っています。

気象観測集計データ（令和5年）

宜野湾市

種別 月別	風向・風速(m/s)			気温	相対湿度	(月)雨量	(年)雨量累計
	平均風速 (m/s)	最大瞬間風速		平均(℃)	平均(%)	(mm)	(mm)
		風向	風速(m/s)				
1月	3.9	北西	22.7	16.3	86.0	55.0	55.0
2月	3.9	西南西	16.3	17.9	69.8	63.0	118.0
3月	3.4	東南東	17.1	19.0	72.4	61.0	179.0
4月	4.1	東	17.7	21.3	76.8	185.5	364.5
5月	4.2	東南東	20.7	23.0	78.7	87.0	451.5
6月	3.7	東南東	35.4	26.3	86.6	306.5	758.0
7月	4.0	東南東	21.0	28.6	81.1	71.0	829.0
8月	4.3	東北東	46.0	27.8	84.9	449.5	1,278.5
9月	3.0	東	22.8	27.9	81.7	150.0	1,428.5
10月	3.1	東	16.6	25.0	70.1	55.5	1,484.0
11月	3.4	西南西	17.2	21.6	69.5	31.0	1,515.0
12月	3.6	東南東	16.2	18.7	75.5	179.0	1,694.0
平均	3.7			22.8	77.8	141.2	

ねたての都市^{まち}
ざわん